

うらやす 市民大学

募集案内
2024^秋—2025^春

令和6年度募集期間

7月13日(土)~8月31日(土) ※必着

目次

| | |
|-------------|----|
| 市長・学長あいさつ | 1 |
| うらやす市民大学の概要 | 3 |
| 市内における活躍の場 | 4 |
| 募集要項 | 6 |
| 履修モデル | 7 |
| 必修講座のご案内 | 8 |
| 自由選択のご案内 | 17 |

01 | 市長挨拶

令和6年度うらやす市民大学受講生募集にあたって

うらやす市民大学は、市民の皆さんがまちづくり活動を行うために必要な知識及び技能を学んでいただく場です。

令和4年度からは「市民自治の推進」などの新たな3つのコンセプトを掲げ、地域課題・行政課題の解決に資するテーマの講座を実施しています。

さて、先般発生した能登半島地震を受け、自然災害の脅威を改めて認識し、本市におきましても、自助・共助・公助による地域防災力の向上を図り、防災・減災・応災を基盤としたまちづくりが最も重要な施策であると考えています。

そのような中、少子高齢化などに伴い社会情勢が急速に変化してきており、市民や地域コミュニティ、市民活動団体など多様な主体が、市や議会とともに、担い手となってまちづくりを進めていくことが、より一層必要となっています。

このようなことから、令和6年度秋学期及び令和7年度春学期につきましては、防災、介護予防、子育て、環境保全、多文化共生などをテーマとした講座を継続するとともに、まちづくり活動への参加や、団体の基盤強化につながる講座を新たに設けました。

講座における学習の成果を、ご自身の生活はもとより、コミュニティ活動や市民活動など、まちづくり活動に活かしていただきたいと考えています。

市としましても、まちづくりの主人公である市民の皆さまとともに、浦安の新たな未来を切り拓いてまいります。

うらやす市民大学において、学びを通じて生きがいを再発見し、地域の様々な場面でご活躍されることを祈念します。

令和6年7月

浦安市長 内田悦嗣



02 | 学長挨拶

市民の自主的で主体的なまちづくりを拓くうらやす市民大学

コロナ禍での休校後、2年制の「まちづくりサポーターコース」を含む新たなうらやす市民大学が再出発してから、令和6年10月で3年目を迎えます。この8月には、「まちづくりサポーターコース」で学んだ1期生が、うらやすのまちづくりに関わるさまざまなテーマを設定して修了レポートをまとめました。これからの浦安でのさらなる地域活動や学びの継続に大いに期待しているところです。

令和6年度秋学期・7年度春学期に開講される講座は、「まちづくりサポーターコース」では、市民自治論、市民のまちづくり論、行政のまちづくり論、自由選択コースでは、介護予防、公衆衛生、環境、まちづくり、地域活動、子育て環境、花のまちづくり、防災、多文化共生、経済と法など、多彩な講座が準備されています。「まちづくりサポーターコース」で開講されている講座も「修了演習」を除いて自由に受講することができますし、うらやす市民大学での学びを活かして「修了レポートをまとめてみたい」と思う方は「まちづくりサポーターコース」への編入も可能です。

今年は元旦に発生した能登半島地震によって、あらためて防災・減災をめぐる課題を再認識させられました。地球規模での温暖化と環境問題、戦争と平和をめぐる課題、少子・高齢化・人口減少問題など、どのように持続可能な社会をつくるか、が大きな課題となっています。2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）が、17の目標と169のターゲットを掲げていますが、これらの目標を浦安のまちづくりの課題と重ねつつ考え、学び、実践していくことが求められていると思います。

うらやす市民大学を受講するなかで、仲間とともに学びあい、また講師の先生方や浦安市の職員の方々とともに学ぶあうなかで、これからの浦安市のまちづくりを考えてみませんか。多くの市民がうらやす市民大学を受講されることを心から願っています。

令和6年7月

うらやす市民大学学長 長澤成次



03 うらやす市民大学の概要

■趣旨：「うらやす市民大学」は、まちづくり活動を行うために必要な知識や技能を学び、市民自らが地域に貢献するまちづくりの担い手となり、活躍するための学びの場です。

市民大学のコンセプト

- 「市民自治」によるまちづくりの推進
- 市民の自主的なまちづくりを拓く市民大学
- 受講生の関心に応じて深化・発展させる学習環境づくり

■特色：うらやす市民大学には2種類の受講形態があります。

①まちづくりサポーターコース(定員30名)

市民が、地域課題をめぐって、自分の関心を自由に膨らませながら、自分たちで考えて行動するための知識や技能を体系的に学ぶことができるコースです。必修講座や自由選択講座など、規定の講座数を受講することで、2年間で10講座20単位の取得を目指します。2年次の春学期に開講されるゼミ形式の修了演習では、市民活動やフィールドワーク等に取り組みます。修了した際には、修了証が授与されます。

2年間で規定単位が取得できなかった場合は、講義を最後に受講した年度から2年間は取得した単位を有効とします。

○まちづくりサポーターコースの履修の流れ

| 申し込みから修了までの履修の流れ | | | | | | |
|------------------|----------------|------------------------|------------|-----------|------|--------|
| 申し込み | 必修 | 1年次 | | 2年次 | | 修了証の授与 |
| | | 秋学期(10月～3月) | 春学期(4月～9月) | 秋学期 | 春学期 | |
| | | 市民自治論 | 行政のまちづくり論 | 市民のまちづくり論 | 修了演習 | |
| 自由選択 | 開講科目(各学期6講座予定) | | | | | |
| | | 開講分野 | | | | |
| | | 健康・福祉／環境・都市／文化・教育・キャリア | | | | |

②自由選択コース ※自由選択コースにお申し込みの方は、修了演習以外の講座はすべてお申し込みできます。

受講年数や受講する講座数に制限はなく、ご自身の関心やまちづくり活動の状況に合わせて受講することができます。

※過去に受講した自由選択コースの単位を振り替えて、まちづくりサポーターコースに参加することができます。詳しくは、うらやす市民大学事務局までご相談ください。

■授業科目：学期ごとに必修講座2科目、自由選択講座6科目の開講を予定しています。

■授業時間：1授業90分

1時限目：10：00～11：30 / 2時限目：13：00～14：30 / 3時限目：15：00～16：30

■受講料：1講座(10回)あたり5,000円

※参加証明書の発行について

うらやす市民大学では若い世代の受講を促進するため、生徒や学生が学校等への提出を目的に参加証明書の発行を希望する場合、出席状況やレポートの提出等を踏まえて発行します。

詳しくはうらやす市民大学事務局までお問い合わせください。

まちづくり基本条例とうらやす市民大学の関わり

令和4年4月1日に施行した「浦安市まちづくり基本条例」では、まちづくりの基本的な考え方として、「まちづくりは、市民の意思に基づいて自ら進められることを基本とする」としており、「まちづくりを進めるに当たり、自らできることは自ら、自分たちでできることは自分たちで考えて実践する」と定めています。また、まちづくりの基本原則の一つである「参加と連携協力の原則」により、個人、近隣、地域コミュニティ、市民活動団体や事業者などの多様な主体がまちづくりに参加し、市や議会とともに連携協力してまちづくりを進めることとしています。

うらやす市民大学は、浦安市まちづくり基本条例の考え方に則り、市民の自主的なまちづくりを拓く人材育成の場として、市民自治によるまちづくりを推進します。

04 市内における活躍の場

市内では、市民が主体となって、コミュニティづくりや地域課題解決のために、様々な分野でまちづくり活動を展開しています。また、市には活動を支援するための施設や支援制度などがあります。

市民大学での学習をきっかけに、ご自身の形で、まちづくり活動を始めたり参加したりしてみませんか。

■地域活動団体

まちづくり活動の中で最も身近な活動は、自治会や老人クラブ、PTA、マンション管理組合など、特定の地域において行う活動です。

ここでは、地域活動団体における活動への参加の一例を紹介します。

【例】自治会との関わり方

地域コミュニティの中核をなす自治会は、各種の会合、自治会まつり等、多くのイベントを開催しています。これらの活動に積極的に関わることで、コミュニティづくりや、防災・防犯、地域福祉等の課題解決に取り組みます。

■市民活動団体

まちづくり活動の中で、特定のテーマ分野で行う公益的活動を市民活動といいますが、市内では、多くの団体が多様な分野で活動しています。

団体の支援を目的に運営している浦安市市民活動センターの利用承認を受けている団体は令和6年3月末時点で234団体あり、様々な分野の市民活動が市内で行われています。



保健・医療・福祉の増進

- ・高齢者の在宅療養に伴う相談、支援活動。
- ・認知症カフェとして、悩み事の相談や集いの場を提供。
- ・高齢や病気、障がい等でお困りの方に、掃除や調理、買い物の付き添い等を実施。
- ・障がいのある方の居場所や自立支援、自立訓練の実施。



子どもの健全育成

- ・地域が抱える子どもの孤食や貧困の解消に向けたこども食堂の運営。
- ・先輩ママ達が悩み事の相談に応じ、地域の子育て親子を支援。
- ・子どもや家族に関する悩みを持つ方へ、情報提供や心理的サポートの実施。



環境の保全

- ・回収された古着の再利用、資源のリサイクルに関する見学会や勉強会の開催。
- ・地域猫（飼い主のいない猫）の問題でお困りの方への相談に応じる。
- ・市民が水辺に関心を持ち、大切さを学んでもらうためのイベントの実施。

市民活動センターとは・・・

市民活動やボランティア活動を行っている団体やこれから始めようとする人たちに「相談対応」「情報」「活動拠点」「ネットワーク」「備品」といった社会的資源を提供し、様々な側面から市民活動を支援しています。

コーディネーターが常駐しているので、団体の立ち上げに関する相談や運営方法へのアドバイスなど気軽にご相談いただけます。「ボランティアをやりたい」「地域のために役に立ちたい」「市民活動に関心がある・もっと知りたい」とお考えの方はぜひご利用ください。



住所：〒279-8501 浦安市猫実1-1-1（市庁舎10階） 電話：047-305-1721 F A X：047-305-1722
Eメール：shiminkc@jcom.home.ne.jp ホームページ：http://www.u-shimin.genki365.net
開館日：日曜日～金曜日 午前9時～午後5時 休館日：土曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）



■様々な形でのまちづくり活動への関わり方

まちづくり活動への関わり方については、様々な方法や場面があります。

ここでは、うらやす市民大学の講座受講後、どのような活動場面があるのか、その一例を紹介します。

例① 新たなまちづくり活動団体を立ち上げる。

(講座を受講した方)

- 選択講座で防災分野の講座を選択し、地域防災計画に関することや災害時の自助に関する取り組みについて、理解を深めた。
- 自身も防災士の資格を有しており、地域の為に知識を伝えていきたい。
- 団体を立ち上げるにあたり、会員の確保に必要なチラシの作成を行いたい、費用面で不安がある。
- 団体の運営に関し、運営のコツや他の団体がどのような運営を行っているのか知りたい。

(浦安市)

- 市民活動補助金制度により、団体の会員確保に向けた事業に補助金を交付し、支援する。
- 市民活動センターにより、団体が安定的かつ継続的に活動が行えるよう、課題解決につながる講座等を実施し、支援する。また、団体が交流する機会を設け、団体相互の連携協力を促進する。

市民活動補助金制度とは…

市民活動団体が行う事業の経費の一部を補助することにより、自主性のある市民活動と市民活動団体の自立を促進させるための制度です。

上限額 10 万円の「自立促進事業（はじめの一步）」と、上限額 50 万円の「活性化事業（ステップアップ）」の 2 種類があり、事業実施の前年度に募集を行い、第三者機関による候補事業の選定を経て、市が補助対象候補事業として決定した後、事業の実施年度に交付申請が可能となります。

例② 既存のまちづくり活動団体の活動に参加する。

(講座を受講した方)

- 選択講座で環境分野の講座を受講し、ごみ問題から見える社会づくりのヒントについて、理解を深めた。
- まちづくり活動団体の運営に関する講座を受講し、会員確保の方法などについて、理解を深めた。
- 新規で団体を立ち上げるよりも、既に活動している団体のサポートから始めたい。
- 普段の生活で SNS を多く利用している。

(悩みを抱える団体)

- 地域の環境美化活動を行っている団体「うらやすクリーンズ（仮称）」。
- 事業が固定化しているが、新たな事業（アイデア）が不足している。
- 10 年以上活動を継続しているが、会員の高齢化により新たな担い手が必要。

(浦安市)

- 市民活動センターにより、相談のあった団体と講座を受講した方をつなぐ。

(講座を受講した方 + 団体 + 浦安市)

- 講座を受講した方の視点から新たな事業（アイデア）が生まれるとともに、SNS を活用した事業の周知、新たな会員の確保につながる。

【市民活動に関するお問い合わせ】

浦安市 市民経済部 市民参加推進課

〒 279-8501 浦安市猫実 1-1-1 電話：047-712-6059（直通） Eメール：shiminsanka@city.urayasu.lg.jp

05 令和6年度募集要項

- **申込資格**：うらやす市民大学の趣旨に賛同する市民で、まちづくり活動を積極的に行う意欲のある方。
また、うらやす市民大学の受講年限を超えていない方。ただし、申し込み多数の場合は抽選となります。

うらやす市民大学の受講年限

うらやす市民大学は通算5年を超えて申し込みをすることができません。
ただし、5年を超えた年度から2年経過した場合は再度申し込むことができます。

※秋学期、春学期に関わらず、一度の申し込みで1年受講したものとみなします。

- **申込期間**：令和6年7月13日(土)から8月31日(土)まで(必着)
- **申込手続**：○申込書を提出する場合
受講申込書に必要な事項を記載のうえ、市民大学校または市民参加推進課(市役所3階)にご持参、または市民大学校まで郵送してください。
市民大学校及び市民参加推進課での受付は、土日祝日を除く午前8時30分から午後5時までです。
○電子申請の場合
右記の二次元コードまたは市公式HPのオンラインサービス(ちば電子申請サービス)のページからお申し込みください。



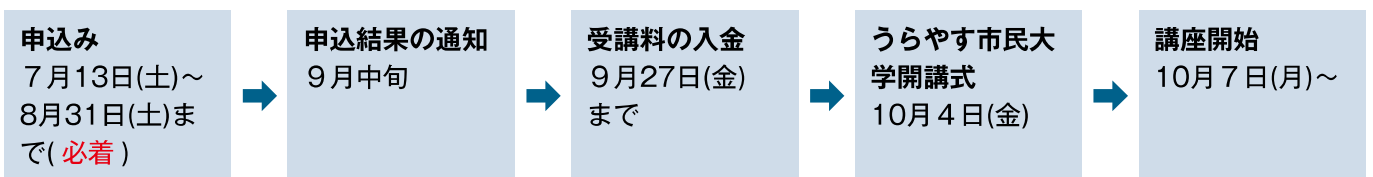
- **申込結果**：申込結果は受講の可否にかかわらず、9月中旬に文書で通知します。

- **受講手続**：
 - ・受講者は結果通知に記載の手続き(受講料の納入)を所定の期限までに行ってください。
 - ・受講料の納付書は、結果通知とともに送付します。
 - ・納入された受講料は、途中で受講を中止した場合でも返還しません。
 - ・受講にかかる教材費や交通費など、別途実費負担が発生する場合があります。

- **注意点**：
 - ・うらやす市民大学に専用の駐車場はありません。
 - ・講義の日時・内容は、開講後に変更となる場合があります。

- **個人情報の取り扱いについて**：
「個人情報の保護に関する法律」に基づき、申込時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については市民大学校の業務でのみ使用します。

06 受講までの流れ



07 うらやす市民大学開講式のご案内

- **日時**：令和6年10月4日(金)午前10時~(受付9時30分~)
- **場所**：浦安市まちづくり活動プラザ3階 市民大学校 講義室1
- **対象**：令和6年度秋学期及び令和7年度春学期にうらやす市民大学を受講するすべての方

| 日程 | 内容 |
|-------------|---------------------------------------|
| 10:00~10:30 | 開講式 |
| 10:40~11:30 | 学長基調講演 【講師】長澤 成次(千葉大学名誉教授/うらやす市民大学学長) |

- **備考**：欠席される場合の事前連絡は不要です。

08 履修モデル

◆まちづくりサポーターコース 講座履修例

応募動機

- ◎まちづくりに参加するきっかけとして申し込みをした。
- ◎安全安心な地域の環境づくりに貢献したい。
- ◎行政とも関わりがなかったため、市の方針や考え方を知りたい。

学びの内容

- ◎地域の安全安心には自治会活動だけでなく、子どもたちの教育や市内全域での活動でも貢献できると気が付いた。
- ◎行政がどのような視点で防災に関するまちづくりを行っているのかを知った。

まちづくり活動

- ◎地域の防災活動や防犯活動の担い手として活躍している。
- ◎学校や地域の子ども会と連携して防災・防犯教育を行う団体を立ち上げた。
- ◎修了演習で参加した災害ボランティアを継続し、市内で活動を行っている。

| | 1年次秋学期 | 1年次春学期 | 2年次秋学期 | 2年次春学期 |
|------------------------------|--|---|--|---|
| 必修講座 (4講座 8単位) | 市民自治論 ・市民、行政、議会のあり方を学ぶ ・市民自治の考え方を学ぶ | 行政のまちづくり論 ・防災も含めて行政が実際にしていることを学び、あわせて市民との関わりを学ぶ | 市民のまちづくり論 ・地域で実際に活動を行っている方の視点から、まちづくり活動の実態を学ぶ | 修了演習 ・フィールドワークとして、災害ボランティアでの活動を経験 |
| 選択講座 (6講座 12単位) | 環境・都市 ・市内や県内には、どのような災害に関する課題があるのかを学ぶ | 健康・福祉 文化・教育・キャリア ・防災に関係する授業があったため、「健康・福祉」講座、「文化・教育・キャリア」講座を受講 | 環境・都市 文化・教育・キャリア ・防災と教育を掛け合せて活動もできるのではないかと思い、「文化・教育・キャリア」講座を受講 | 環境・都市 ・これまでの学習内容を踏まえ、再度、防災講座を受講 |

◆自由選択コース 講座履修例

応募動機

- ◎環境問題の啓発に取り組む団体に所属しているが、活動の幅を広げたい。
- ◎一緒に活動してくれるメンバーを増やしたい。

学びの内容

- ◎団体の会員にも共有したい課題や講義があった。
- ◎別の分野で他団体と連携した事例を聞き、活動のヒントとなった。

まちづくり活動

- ◎会員の勧誘や意識醸成のために、講義で取り扱った課題の講演会を行った。
- ◎市外の団体とも連携することができ、協力してくれる仲間が増えた。

| | 秋学期 | 春学期 |
|-------------|---------------------------------------|---|
| 選択講座 | 環境・都市 ・地域の課題の再発見のため、環境講座を受講 | 文化・教育・キャリア ・団体として活動できる幅を広げるため、環境問題とは異なる分野の講座を受講 |

09 必修講座一覧

令和6年度秋学期および令和7年度春学期の必修講座は以下の講座を予定しています。
まちづくりサポーターコースをお申し込みの方は必ず4講座全て受講していただきますが、
自由選択コースにお申し込みの方も『修了演習』以外の講座はお申し込みできます。

○令和6年度秋学期

まちづくりサポーターコース必修時期：1年次秋学期

| | |
|------------------|--|
| 講座番号 | 2402- A |
| 講座名 | 市民自治論 - これからのまちづくりに何が必要か - |
| コーディネーター氏名 (肩書き) | 関谷 昇 (千葉大学大学院社会科学研究院教授/うらやす市民大学副学長) |
| 授業期間・時間 | 令和6年10月18日(金)～令和7年2月28日(金)・10:00～11:30 |
| 掲載ページ | 9ページ |
| 定員 | 30名 |

まちづくりサポーターコース必修時期：2年次秋学期

| | |
|------------------|--|
| 講座番号 | 2402-B |
| 講座名 | 市民のまちづくり論 - 学びとまちづくり活動との好循環をつくる - |
| コーディネーター氏名 (肩書き) | 長澤 成次 (千葉大学名誉教授/うらやす市民大学学長) |
| 授業期間・時間 | 令和6年10月18日(金)～令和7年2月21日(金)・13:00～14:30 |
| 掲載ページ | 11ページ |
| 定員 | 30名 |

○令和7年度春学期

まちづくりサポーターコース必修時期：1年次春学期

| | |
|------------------|---|
| 講座番号 | 2501- A |
| 講座名 | 行政のまちづくり論 - まちづくりの実態把握と行政・市民との連携協力を探る - |
| コーディネーター氏名 (肩書き) | 中山 高樹 (地域政策プランナー/元浦安市市長公室長) |
| 授業期間 | 令和7年4月11日(金)～令和7年8月22日(金)・15:00～16:30 |
| 掲載ページ | 13ページ |
| 定員 | 30名 |

※修了演習については、まちづくりサポーターコースの方のみの受講となります。

| | |
|------------------|--|
| 講座番号 | 2501-B |
| 講座名 | 修了演習 |
| コーディネーター氏名 (肩書き) | 長澤 成次 (千葉大学名誉教授/うらやす市民大学学長) 関谷 昇 (千葉大学大学院社会科学研究院教授/うらやす市民大学副学長) |
| 授業期間 | 令和7年4月～令和7年9月 |
| 掲載ページ | 15ページ |

修了レポート発表会のご案内

令和6年度にまちづくりサポーターコースの2年目を受講している方たちの修了レポート発表会を行います。

- 日時：令和6年8月3日(土) 午前10時～12時
- 場所：浦安市まちづくり活動プラザ3階 市民大学校 講義室1
- 定員：先着40名
- 申込：7月16日(火)からメールまたは電話でお申し込みください。

市民自治論 —これからのまちづくりに何が必要か—

コーディネーター 関谷 昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）

【科目概要】

いま自治体は大きな転換期にあります。人口減少、少子高齢化、低成長経済、コミュニティの流動化が本格化するなか、まちのあり方は大きく変わりつつあります。これまでの発想やしぐみに留まるだけでは、まちづくりを持続させていくことが困難になっていくことから、「公」「共」「私」の見直しや新たな形が問われ始めています。

そのためには、「地域生活の原点」に立ち返って、その意味を再確認する必要があります。地域生活とは、衣食住を基盤に、生まれる・育つ・学ぶ・働く・老いる・最期を迎えるということであり、そこで生きるということです。その可能性を探るためには、地域の歴史・人・資源・課題・将来の可能性を知ることが重要ですし、「どのような支え合いをつくり出せるか」「誰が何をすべきか」ということを考えることが求められます。それは同時に、自分にとって・まちにとって、どのような「つながり」が必要なのかということをも改めて考えるということでもあります。市民自治とは、そうしたことを自分たちで考え、できることから実践していくことを意味しています。

この講座は、市民自治の意味を学ぶことで、まちづくりの基本を考えることを目的としています。まちづくりが自分にとっていかに必要なことなのか、どのような可能性を切り拓くものなのか、様々な角度から考えていきます。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|----------------------------------|---|
| 1 | 令和6年 10月18日(金) 10:00~11:30 | <p>「囲い込み社会」から「越境する社会」への転換</p> <p>20世紀モデルが、領域・業界・専門性といった境界線に囲い込まれた社会で、その枠組みの中で諸活動が営まれていたとするならば、21世紀モデルは、その境界線が流動化し、様々なものが交わりと言われます。その時代の転換期において、まちづくりはどうあるべきか？その課題と方向性を確認します。</p> <p>講師 関谷 昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）</p> |
| 2 | 令和6年 11月1日(金) 10:00~11:30 | <p>「自治」の歴史（1）</p> <p>明治時代に翻訳語として定着した「自治」という言葉は、どのような意味を持って近代日本で用いられてきたのでしょうか。各々の時代における諸課題とこの言葉の意味を結びつけながら、町内会の歴史に見出される特徴を確認することによって、日本における自治の歴史を概観します。</p> <p>講師 関谷 昇</p> |
| 3 | 令和6年 11月15日(金) 10:00~11:30 | <p>「自治」の歴史（2）</p> <p>「自治」とは逆に、国家や官僚が市民を管理統制する体制が「官治」です。この中央集権的な「官治」の克服を目指し、自治体の自由度を高めて自立的な運営の実現を推進する地方分権改革は、この「自治」の実現を目的としています。その現状と課題について確認しながら、今後の行方について考えます。</p> <p>講師 関谷 昇</p> |
| 4 | 令和6年 11月29日(金) 10:00~11:30 | <p>地域コミュニティの変容と課題</p> <p>地域コミュニティは、合理化・効率化を求める近代化の文脈の中では、もっぱら克服の対象とされてきました。しかし、人口減少・少子高齢社会が本格化して、東京一極集中や都市型生活に歪みをもたらされ、さらに行政主導の諸政策の限界が出てくると、改めて地域コミュニティが注目されるようになります。ここでは、今後の地域コミュニティから「自治」の可能性について考えます。</p> <p>講師 関谷 昇</p> |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|----------------------------------|---|
| 5 | 令和7年 12月6日(金) 10:00~11:30 | 市民自治の理論 「市民」には何ができるのか? 「市民自治」の理論や思想を整理しながら、その具体的な考え方、実現方法、諸事例、今後の可能性について一緒に考えます。 講師 関谷 昇 |
| 6 | 令和7年 12月20日(金) 10:00~11:30 | まちづくりの新たな可能性・ディスカッション(1) これまでの講義を振り返りながら、これからのまちづくりの可能性について、一緒に考えます。 講師 関谷 昇 |
| 7 | 令和7年 1月10日(金) 10:00~11:30 | 市民と行政 自治体政府は、首長と議会との二元代表制によって成り立っていますが、その一翼である自治体行政は、市民自治の観点からどのようにとらえることができるのでしょうか。首長のリーダーシップ、市民の行政参加などはこれからどのように展開していくのか、その意義と課題について考えます。 講師 関谷 昇 |
| 8 | 令和7年 1月24日(金) 10:00~11:30 | 市民と議会 自治体政府のもう一つの担い手である自治体議会は、市民自治の観点からどのようにとらえることができるのでしょうか。代表制を介した意思決定のあり方、選挙、市民の政治参加など、市民と政治とのかかわりはこれからどうなっていくのか、その意義と課題について考えます。 講師 関谷 昇 |
| 9 | 令和7年 2月14日(金) 10:00~11:30 | 浦安における「市民自治」 浦安において市民自治を具現化していく可能性を探ります。これまでの浦安のまちづくりの特徴と課題を確認するとともに、いま見出される可能性を紐解きながら、これから市民・行政・議会は何をすべきかを考えます。 講師 関谷 昇 |
| 10 | 令和7年 2月28日(金) 10:00~11:30 | まちづくりの新たな可能性・ディスカッション(2) これまでの講義を振り返りながら、これからのまちづくりの可能性について、一緒に考えます。 講師 関谷 昇 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

関谷 昇

自分が日常生活を送っているこの「まち」は、いつまでもこのままで存在し続けるものではありません。社会情勢の変化、政治行政のあり方、自分たちの生き方によって変化していくものです。この「まち」がこれからどうなっていくのか、何を守り、何を变えていかなければならないのか。

その答えを考えていくのが市民であり、議論して実践していくのが市民自治です。ぜひ、一緒に考えてみましょう!



市民のまちづくり論 —学びとまちづくり活動との好循環をつくる—

コーディネーター 長澤 成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）

【科目概要】

うらやす市民大学の新たなコンセプトに掲げられている「市民自治」によるまちづくりを考えると、学びとまちづくり活動との好循環をつくるメルクマール（指標）の一つは市民の自主性・自発性が大切にされることです。その精神を浦安市まちづくり基本条例は「まちづくりは、市民の意思に基づいて進められることを基本とする」と表現しています。そのことをふまえつつ、本講座では、「市民のまちづくり論」をめぐる論点を、市民活動をサポートする行政やさまざまな分野での市民活動の具体的事例と、学びを通して地域を創る図書館・博物館・公民館などの社会教育施設の取り組みを通して学びます。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|----------------------------------|--|
| 1 | 令和6年 10月18日(金) 13:00~14:30 | 市民のまちづくり論 千葉県内も含む日本におけるまちづくり・地域づくりに関わる社会教育の歴史をとりあげながら「まちづくり」の概念について考察するとともに、国際的動向をふまえながら市民主体のまちづくりについて考えます。 講師 長澤 成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長） |
| 2 | 令和6年 11月1日(金) 13:00~14:30 | 受講生の問題関心を共有する 第1回の講義をふまえつつ、受講生のこれまでのうらやす市民大学での学びや問題関心を共有する作業を通じて「市民のまちづくり論」を考えます。 講師 長澤 成次 |
| 3 | 令和6年 11月22日(金) 13:00~14:30 | 市民の学びの力をどう活かすか—生涯学習・生涯スポーツとまちづくり 第2次浦安市生涯学習推進計画と事業及び浦安市生涯スポーツ推進計画と事業についての説明を担当職員からお聞きするなかで、浦安市における生涯学習・生涯スポーツによるまちづくりを学びます。 講師 浦安市生涯学習課／浦安市市民スポーツ課／長澤 成次 |
| 4 | 令和6年 11月29日(金) 13:00~14:30 | 市民の学びの力をどう活かすか—市民活動サポートとまちづくり 浦安市市民活動センターは、市民活動やボランティア活動・自治会活動に対して、さまざまな社会的資源の提供を通じて支援しています。担当職員からの説明と施設の見学、そして市民活動団体の活動を通して学びます。 講師 浦安市市民活動センター／市民活動団体／長澤 成次 |
| 5 | 令和6年 12月13日(金) 13:00~14:30 | 市民のまちづくりの実践から学ぶ—福祉のまちづくり— 【内容】 浦安市内で活動する「浦安介護予防アカデミア」、認知症カフェなどに取り組む「NPO キラキラ応援隊」、高齢などでお困りの方を助ける「たすけあいとはとぽぽ」などの具体的な実践から学びます。 講師 高齢者支援に取り組む市民活動団体／長澤 成次 |
| 6 | 令和6年 12月27日(金) 13:00~14:30 | 市民のまちづくりの実践から学ぶ—持続可能な社会づくり— 浦安市三番瀬環境観察館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、浦安市での環境保全に関する活動や環境学習などについて、浦安三番瀬を大切にしたい会、温暖化防止うらやすなどの市民活動団体の実践から学びます。 講師 (株)自然教育研究センター（浦安市三番瀬環境観察館環境学習受託業者）／環境保全学習に取り組む市民活動団体／長澤 成次 |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|---|
| 7 | 令和7年 1月10日(金) 13:00~14:30 | 市民の学びを通して地域を創る浦安市立中央図書館 浦安市立中央図書館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、実際に図書館で活動している市民の方からお話をさせていただきます。 講師 浦安市立中央図書館職員／図書館で活動する市民活動団体／長澤 成次 |
| 8 | 令和7年 1月17日(金) 13:00~14:30 | 市民の学びを通して地域を創る浦安市郷土博物館 浦安市郷土博物館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、実際に博物館で活動している市民の方からお話をさせていただきます。 講師 浦安市郷土博物館職員／博物館で活動する市民活動団体／長澤 成次 |
| 9 | 令和7年 2月7日(金) 13:00~14:30 | 市民の学びを通して地域を創る浦安市日の出公民館 1946年に文部省が「町村振興の底力を生み出す場所」として全国に設置を呼びかけた公民館。浦安市日の出公民館を訪問し、担当職員から事業内容をお聞きするとともに公民館で活動する市民活動団体等からお話をさせていただきます。 講師 浦安市日の出公民館／公民館で活動する市民活動団体等／長澤 成次 |
| 10 | 令和7年 2月21日(金) 13:00~14:30 | 市民のまちづくり論—まとめ— これまでの講座をふりかえりながら「市民のまちづくり」をめぐる課題を受講生とともに考えます。 講師 長澤 成次 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

長澤 成次 先生

「市民のまちづくり論」では、受講された市民の皆様のまちづくりに関する問題関心を共有しながら、市民の学びの力を活かすための行政の支援や、浦安市内で活動する団体・グループ・NPOなどの多彩な活動・実践、そして市民の学びを支え、地域を創る図書館・博物館・公民館などの社会教育施設における事業やそこでの市民活動から学ぶプログラムを準備しています。

浦安における持続可能なまちづくりをめざして共に学んでみませんか。



行政のまちづくり論 —まちづくりの実態把握と行政・市民との連携協力を探る—

コーディネーター 中山 高樹（地域政策プランナー / 元浦安市市長公室長）

【科目概要】

新たな総合計画も令和2年度からスタートして今年で5年目、計画期間の折り返し点が近づいています。掲げた施策は今どのような展開になっているのだろうか？まちづくり基本条例で定めた浦安市独自の進め方は具体的に進んでいるのだろうか？私たち市民が、自主・連携の担い手として、責務をもって主体的に活動しなくてはならない時代になっていますが、参加と連携のあり様は決して一律ではなく、各地で様々な形で模索されているのが実情です。

行政がこれまでも今後もまちづくりにおいて大きな役割を担うことには間違いありませんが、市民が自主的・主体的に取り組んでいくためにも、行政が何をどのように取り組んできたかその歴史を学ぶこと、そして行政自身が市民とどのように連携を取ろうとしてかを知ることは極めて有用です。本講座では、総合計画の施策の大綱にあわせて、限られたテーマですが、「行政のまちづくり」のあり方、進め方について考えます。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|---------------------------------|---|
| 1 | 令和7年 4月11日(金) 15:00~16:30 | <p>ガイダンス</p> <p>総合計画の策定の意味、計画の位置づけ、掲げた基本目標実現にむけて取り組む施策の大綱（群）と取り組むべき展開内容を体系的に学びます。本講座のカリキュラム構成と意図を説明します。また受講生による自己紹介等を行い、情報の共有化を図ります。</p> <p>講師 中山 高樹（地域政策プランナー / 元浦安市市長公室長）</p> |
| 2 | 令和7年 4月25日(金) 15:00~16:30 | <p>「地域とともに子どもを育てる体制」をどう推進する！</p> <p>施策の大綱「子どもの可能性と未来を拓く教育を推進する」に掲げた具体的な施策の展開内容のうち、「地域とともに子どもを育てる体制の推進」に焦点をあてながら、本市の取り組み状況を学ぶとともに、市民として、どう関われるかを議論します。</p> <p>講師 浦安市教育委員会 指導課 / 中山 高樹</p> |
| 3 | 令和7年 5月9日(金) 15:00~16:30 | <p>「学びによる豊かな地域づくり」とはどうすれば実現するのか！</p> <p>施策の大綱「生涯にわたる学びと人とのつながりを大切にする」に掲げた具体的な施策の展開内容の中で、「学びによる豊かな地域づくりの推進」に焦点をあてながら、本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。</p> <p>講師 浦安市教育委員会 生涯学習課 / 中山 高樹</p> |
| 4 | 令和7年 5月23日(金) 15:00~16:30 | <p>「地域福祉を地域全体で支え合う活動」をどう推進できる！</p> <p>施策の大綱「いつまでもいきいきと笑顔あふれる暮らしを創出する」に掲げた具体的な施策の展開内容の中で、「地域全体で支え合う活動の推進」に焦点をあてながら、本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。</p> <p>講師 浦安市社会福祉課 / 浦安市社会福祉協議会 / 中山 高樹</p> |
| 5 | 令和7年 6月6日(金) 15:00~16:30 | <p>「多様な主体による地域づくり」の推進はどうした良いか！</p> <p>施策の大綱「多様性を認め合い心豊かな暮らし構築する」に掲げた具体的な施策の展開内容の中で、「多様な主体による地域づくりの推進」に焦点をあてながら、本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。</p> <p>講師 浦安市地域振興課 / 中山 高樹</p> |
| 6 | 令和7年 6月27日(金) 15:00~16:30 | <p>「地域主体の防災対策」をどう構築できるか！</p> <p>施策の大綱「災害に強く犯罪が起りにくいまちづくりを推進する」に掲げた施策の展開内容の中で、「地域主体の防災対策の充実」に焦点をあてながら、本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。</p> <p>講師 浦安市危機管理課 / 中山 高樹</p> |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|--|
| 7 | 令和7年 7月11日(金) 15:00~16:30 | 「多様な主体との連携による緑の育成」はさらにどう進めるか！ 施策の大綱「水と緑を活かした快適な環境を整備する」に掲げた施策の展開内容の中で、「多様な主体との連携によるみどりの育成」に焦点をあてながら、本市施策の取組状況を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。 講師 浦安市みどり公園課 / 中山 高樹 |
| 8 | 令和7年 7月25日(金) 15:00~16:30 | 「地域資源を活用した観光振興」の推進 施策の大綱「魅力あふれる観光・リゾートを振興する」に掲げた施策の展開内容の中で、「地域資源を活用した観光振興の推進」に焦点をあてながら、本市施策の取組の歴史、現況、今後の課題等を学ぶとともに、市民としてどう関われるかを話し合います。 講師 浦安市商工観光課 / 中山 高樹 |
| 9 | 令和7年 8月8日(金) 15:00~16:30 | 「市政やまちづくりへの市民参加」の推進 総合計画の基本目標やそれらを実現していく上で基礎となる「持続可能な行財政運営」を推進する中で、施策の展開内容に掲げた「市政やまちづくりへの市民参加の推進」において、市の取り組みの現況、抱えている課題等を学ぶとともに、市民として今後どう関わっていくべきかを話し合います。 講師 浦安市市民参加推進課 / 中山 高樹 |
| 10 | 令和7年 8月22日(金) 15:00~16:30 | 「行政のまちづくり論」を振り返って 施策の展開内容の中でも、市民として、あるいは市民活動団体として、比較的関りが強い施策について、それらの取り組み背景、歴史、現況と課題、今後の取り組み方など、受講生によるディスカッションを行います。 講師 中山 高樹 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

○行政の組織名については令和6年度現在のもののため、変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

中山 高樹 先生

行政が今後もまちづくりにおいて大きな役割を担うことには間違いありませんが、市民が行政に頼り切ることなく、自主的に主体的に取り組んでいく必要があります。

本講座を通じて、様々な施策の歴史や現況を知り、行政もどのように市民との連携を取ろうとしているのかを学ぶことで、市民と行政の今後の関わり方を考える良い機会になればと考えています。



修了演習

コーディネーター 長澤 成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）
 関谷 昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）

【科目概要】

これまでの「まちづくりサポーターコース」での学びをふまえながら、受講生一人ひとりのまちづくりに関する問題意識・課題意識をもとに、どのような調査やフィールドワークを進めていくのか、また、そこで得た知見等をどのように修了レポートにまとめていくのかを受講生とともに学びあうことのできる演習とします。なお、本講座の成果として、修了レポートの発表会も予定しています。

演習における具体的な日程や進め方は担当講師毎に異なりますので、事前に行うガイダンスを踏まえ、登録を行っていただきます。

以下は概要となります。詳細は、担当講師からガイダンスで説明するとともに、さらに具体的な進め方は受講生との話し合いで決定します。

※本講座を受けられる方は、まちづくりサポーターコースをお申込みの方のみとなります。

| 回 | 日程 | 内容 |
|-----------|------------------------|--|
| 演習 開始前 | 令和7年 3月 | 演習についてのガイダンス・登録 進め方などについて各担当講師が説明し、その内容を踏まえ、まちづくりサポーターコースの受講生が参加したい演習に登録を行います。 |
| 1 | 令和7年 4月 | オリエンテーション 各演習の担当講師と受講生が修了レポートで取り上げるテーマや研究の方法を検討します。 |
| 2～8 | 令和7年 4月～7月 | 修了レポートの作成・議論、指導 修了レポートの作成を行い、適宜内容の議論や講師からの指導、進捗状況の共有を行います。 |
| 9 | 令和7年 8月23日(土) 予定 | 修了レポート発表会 受講生及び市民に向けて修了レポートの発表会を行います。 |
| 10 | 令和7年 8月～9月 | 修了レポートの完成に向けた指導 修了レポートの完成に向け、講師が適宜指導を行います。 |

※上記日程以外に、必要に応じて担当講師の指導を受ける場合があります。

10 | 自由選択講座一覧

○令和6年度秋学期

| 講座 番号 | 講座名 コーディネーター氏名（肩書き） | | 掲載 ページ |
|----------|--|----------------|-----------|
| | 授業期間 | 時間 | |
| 2402-01 | うらやすで介護予防を進めるために ー住み慣れた町で最後まで自分らしく生きるためにー 櫻井 しのぶ（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授） | | 19 |
| | 令和6年10月8日（火）～令和7年1月21日（火） | 10：00～11：30 ほか | |
| 2402-02 | 公衆衛生 ー健康づくり、元気づくりの基本となる考え方を整理しますー 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表） | | 21 |
| | 令和6年10月7日（月）～令和7年3月10日（月） | 13：00～14：30 ほか | |
| 2402-03 | 環境のために私たちにできること ー暮らしと環境とのつながりを捉え直すー 石井 雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授） | | 23 |
| | 令和6年11月24日（日）～令和7年3月9日（日） | 13：00～16：30 ほか | |
| 2402-04 | 浦安のまちづくり形成史を読み解く ー市民生活を支える施設や制度からー 中山 高樹（地域政策プランナー／元浦安市市長公室長） | | 25 |
| | 令和6年10月10日（木）～令和7年3月13日（木） | 15：00～16：30 | |
| 2402-05 | まちづくり活動ブラッシュアップ講座 ー活動の質を高めるためにー 朽木 量（千葉商科大学政策情報学部教授） | | 27 |
| | 令和6年10月12日（土）～令和7年1月18日（土） | 10：00～11：30 | |
| 2402-06 | 地域で支える子育て環境 ー全てのこどもが安心して育つことができる地域を創るー 矢藤 誠慈郎（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授） | | 29 |
| | 令和6年10月19日（土）～令和6年12月14日（土） | 13：00～16：30 | |

○令和7年度春学期

| 講座 番号 | 講座名 コーディネーター氏名（肩書き） | | 掲載 ページ |
|----------|---|-------------|-----------|
| | 授業期間 | 時間 | |
| 2501-01 | 浦安で、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くために ～居場所・つながり・お互い様がなぜ必要なのかを考えます～ 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表） | | 31 |
| | 令和7年4月9日（水）～令和7年9月10日（水） | 13：00～14：30 | |
| 2501-02 | 花のまちづくりガーデニング講座 ー花と緑、彩り溢れる花のまちを目指してー 大嶋 陽子（ガーデンデザイナー／E&Gアカデミー講師） | | 33 |
| | 令和7年4月7日（月）～令和7年9月22日（月） | 15：00～16：30 | |
| 2501-03 | 家族とまち・マンションを守るみんなの防災 ー自助なくして、共助なしー 中林 一樹（東京都立大学名誉教授） | | 35 |
| | 令和7年5月10日（土）～令和7年7月5日（土） | 13：00～16：30 | |
| 2501-04 | 多文化共生を進めるために 上杉 恵美（明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授） | | 37 |
| | 令和7年5月17日（土）～令和7年7月12日（土） | 13：00～16：30 | |
| 2501-05 | わたしのまちづくり活動 ーずっと暮らしたい“うらやす”へー 畑山 文恵（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット理事長） | | 39 |
| | 令和7年4月20日（日）～令和7年9月7日（日） | 13：00～16：30 | |
| 2501-06 | 高齢化する市民社会における経済と法 ー市民社会の「知」の探求ー 兼重 賢太郎（明海大学不動産学部教授） | | 41 |
| | 令和7年4月23日（水）～令和7年9月17日（水） | 10：00～11：30 | |

うらやすで介護予防を進めるために一住み慣れた町で最後まで自分らしく生きるために一

コーディネーター 櫻井 しのぶ（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授）

【科目概要】

介護予防に関する知識や必要な技術の習得、地域活動への主体的な参加体験、地域における介護予防についての問題点の抽出等を通じて、介護予防について学ぶ機会を提供します。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|----------------------------------|--|
| 1 | 令和6年 10月8日(火) 10:00~11:30 | 介護予防とは 介護予防の概念からその受容性を学ぶとともに、介護予防への取り組みが及ぼす、まちづくりの必要性について考えます。 講師 櫻井 しのぶ（順天堂大学大学院 医療看護学研究科教授） |
| 2 | 令和6年 10月22日(火) 10:00~11:30 | 高齢者の身体の変化と介護予防 『古い』が私たちの身体にどのような変化をもたらすかを再確認し、介護予防に取り組む意義について学びます。 講師 原田 静香（順天堂大学 医療看護学部 先任准教授） |
| 3 | 令和6年 10月31日(木) 13:00~14:30 | 介護・寝たきりを予防するための骨格筋老化の基礎知識 ヒトが生涯にわたって健康で自立した生活を営むためには、日常動作の基盤となる骨格筋量を維持することが必要不可欠です。当日は、介護予防の観点から、中高齢者が運動する際に役立つと思われる高齢期骨格筋の特徴について紹介します。また、参加者の脚の老化度（ロコモ度）についても評価してもらう予定です。 講師 町田 修一（順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科 教授） |
| 4 | 令和6年 10月31日(木) 15:00~16:30 | 介護予防のための筋力トレーニングの実践方法 骨格筋の老化の特徴やスポーツ医学の理論に基づく運動プログラムや評価方法について紹介し、特別な施設や測定器具がなくてもできる介護予防のための筋力トレーニングを紹介する予定です。 講師 町田 修一 |
| 5 | 令和6年 11月7日(木) 10:00~11:30 | 低栄養予防と口腔機能向上 高齢期に適した健康づくりである「介護予防」のための低栄養予防と口腔機能向上の取り組みや、その意義と実践方法について、体験を交えてお伝えします。 講師 浦安市高齢者包括支援課 |
| 6 | 令和6年 11月19日(火) 10:00~11:30 | ドクターズレストランのフレンチシェフに習う介護予防をテーマにした低栄養改善メニュー フレンチシェフが要介護状態を出来る限り遅らせることを目的とした老化予防と低栄養改善の本格フレンチ料理を提案します。調理実習と試食会を実施します。 講師 櫻井 雄司（ビストロシャテル シェフ） |
| 7 | 令和6年 12月10日(火) 10:00~11:30 | 浦安市が進める介護予防／介護予防アカデミアの活動 高齢期を豊かに過ごすための地域づくりを進めるために、地域包括支援センターの機能や行っている事業についてお伝えします。さらに、浦安介護予防アカデミアの実際についてお聞きし、自らの介護予防活動につなげます。 講師 浦安市高齢者包括支援課／浦安介護予防アカデミア |

| 回 | 日程 | 内容 |
|-----|---------------------------------|--|
| 8・9 | 令和7年 1月9日(木) 13:00~14:30 | 介護予防を目指した「まちづくり」とは 介護予防を視点とした「まちづくり」(地域連携・市民活動との関係・行政との連携)を進めるための方法、介護予防リーダーの役割を探ります。 講師 齊藤 恭平 (東洋大学大学院 ライフデザイン学研究科 教授) |
| | 令和7年 1月9日(木) 15:00~16:30 | |
| 10 | 令和7年 1月21日(火) 10:00~11:30 | まとめ「うらやすで介護予防を進めるために」 本講座で学んだこと踏まえ、今後のご自身生活にどのように実践していくのか。さらに、急速な高齢化を迎えるという「まちの問題」を抱えるうらやすが、今後どのようなべきかを皆さんで語り合います。 講師 櫻井 しのぶ |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

櫻井 しのぶ 先生

人生100年時代と言われる今日ですが、ただ長生きするのではなく、皆さん自立して人生を全うしたい(健康寿命)と願っています。そのためには、元気なうちからの介護予防の取り組みが重要です。私達が自らの介護予防について学び、地域で介護予防活動に取り組むことが、安心した老後の生活を送るために必要です。この講座では、介護予防の視点を持つことにより改めて浦安を見つめなおし、より充実した老後を送るために、私達に何ができるのかを考えていく機会にできればと思います。少しずつ新型コロナで制限されていた社会活動も再開してきました。自分らしく生きていくために、自分の介護予防だけでなく、誰もが安心して住み慣れた我が家で生きていける浦安市をもう一度私達の手で創るための時間にしていきたいと思っています。



公衆衛生ー健康づくり、元気づくりの基本となる考え方を整理しますー

コーディネーター 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）

【科目概要】

新型コロナウイルスのまん延を通して多くの人々が「公衆衛生」という言葉を耳にするようになりました。一方で医師だけではなく、他分野の専門家、さらには市民までもが「予防」という言葉の難しさを理解せず、安易に使うようになっています。

今では病院で患者さんの診療をしながら、民間公衆衛生医という二刀流の医者として自認している私ですが、実は医学部時代は絶対公衆衛生の分野には進まないと思っていました。それは公衆衛生の本当の意味を、予防の難しさを、そしてその楽しさを理解していなかったからでした。

1854年に疫学の父と言われたジョン・スノウがコレラの原因となった井戸を特定したのが公衆衛生の原点で、その後さまざまな感染症対策で多くの成果を上げてきました。では、新型コロナウイルス対策はどうだったでしょうか。そしてコロナ禍を経験した日本人にどのような対策の副作用が残ったのでしょうか。病原体の感染経路についての啓発が不十分なまま、マスクがどのような意味があるのかも「個人の判断」となった結果、高齢者のフレイル（虚弱な状態）が、自死が、不登校が増えました。

公衆衛生は、専門家だけで推進できるものではなく、専門家と行政と市民が一体となり、一人ひとりが健康になるだけではなく、社会全体が健康になるためにできることを模索し続ける目指す取り組みの総称です。そして公衆衛生の基本は「対話」です。この対話を重ね、市民一人ひとりが今後の健康づくりの方向性について考え、道標を発見するための講座になるよう、一緒に取り組みたいと思っています。

（この講座は令和7年4月から始まる「うらやすで、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くために」と連動していますので、連続受講でさらに理解が深まります。また、講座では一方的な講義だけではなく、受講生同士、さらには講師陣等との対話、つながりづくりを重視していますので、反復して受講される方も少なくありません）

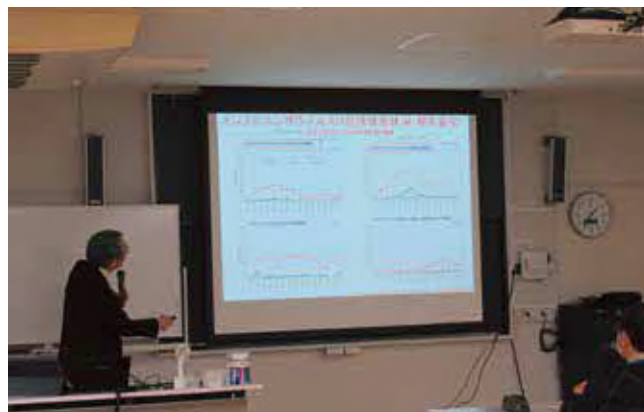
| 回 | 日程 | 内容 |
|---|----------------------------------|---|
| 1 | 令和6年 10月7日(月) 13:00~14:30 | 一人ひとりが健康に関して気になっているテーマの共有 受講生が健康に関して「気になっているテーマ」と「知りたいこと」 講師 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表） |
| 2 | 令和6年 10月21日(月) 13:00~14:30 | 「絶対ならない」から「虜になった」公衆衛生の魅力とは 公衆衛生の広大な守備範囲の罨と魅力を考える 講師 岩室 紳也 |
| 3 | 令和6年 11月11日(月) 13:00~14:30 | そもそも「健康」とは？ WHO が考える「健康」を紐解く 講師 岩室 紳也 |
| 4 | 令和6年 12月2日(月) 13:00~14:30 | 感染症対策① 新型コロナウイルス対策を市民目線で総括する 講師 岩室 紳也 |
| 5 | 令和6年 12月16日(月) 13:00~14:30 | 感染症対策② 病原体に着目する意味 講師 岩室 紳也 |
| 6 | 令和7年 1月6日(月) 13:00~14:30 | 感染症対策③ 対策の混乱と今後の方向性を考える 講師 岩室 紳也 |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|---|
| 7 | 令和7年 1月20日(月) 13:00~14:30 | 公衆衛生と保健師 保健師が目指す浦安市の公衆衛生とは 講師 岩室 紳也／中央地域包括支援センター |
| 8 | 令和7年 2月3日(月) 13:00~14:30 | 公衆衛生対策の基本となる考え方① ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ 講師 岩室 紳也 |
| 9 | 令和7年 2月17日(月) 13:00~14:30 | 公衆衛生対策の基本となる考え方② ヘルスプロモーション 講師 岩室 紳也 |
| 10 | 令和7年 3月10日(月) 13:00~14:30 | 市民による、市民のための公衆衛生とは なぜ、いま、「市民」が、「市民自治」が、「市民協働」が必要か 講師 岩室 紳也 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

岩室 紳也 先生

医者の世界に二刀流があるのをご存じでしょうか。「病気を治す医者」と「人の元気づくりをお手伝いする医者」の両方を行っているのがコーディネーターの岩室紳也です。この講座を受講すると、どうすれば健康に、元気になれるかがわかるだけでなく、そのために不可欠な参加者同士の、講師陣とのつながりづくりが進みます。ぜひ一緒に楽しい時間をすごしましょう。



環境のために私たちにできること—暮らしと環境とのつながりを捉え直す—

コーディネーター 石井 雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）

【科目概要】

この講座では、持続可能な社会を支えるひとつの柱である環境に焦点をあてて、私たちの暮らしと環境がいかにして相互に関わっているのかについて、具体的な活動をしている方々のお話を聴き、現場（フィールド）での見学や体験を通じて理解を深めていきます。具体的には、気候変動・資源循環と廃棄物・生態系と生物多様性、農林漁業と食料という4つの領域について学びます。最終的には、毎回の意見交換やディスカッションを通じて自身の考えをまとめ、持続可能な生き方・暮らし方への変容に向けた具体的なアイデアを発表・共有します。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|----------------------------------|---|
| 1 | 令和6年 11月24日(日) 13:00~14:30 | 持続可能な社会に向けた動きを理解する 「持続可能な開発目標（SDGs）」で示されているように、環境と社会・経済が調和した持続可能な社会づくりに向けた動きが様々な分野から取り組まれています。この回ではSDGsの概要を知り、私たちの暮らしとの関わりについて考えます。 講師 石井 雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授） |
| 2 | 令和6年 12月15日(日) 10:00~11:30 | 気候変動のメカニズムと日常生活との関わりを理解する SDGsの中でも喫緊の課題として示されている気候変動について、そのメカニズムと自然及び社会への影響について理解します。また、日常生活の様々な場面との関わりについて具体的に考えます。 講師 温暖化防止うらやす |
| 3 | 令和6年 12月15日(日) 13:00~14:30 | 気候変動への緩和と適応を考える 2015年に示されたパリ協定を軸として、世界では産業革命以降の平均気温の上昇を1.5℃未満に抑えようとする取り組みが進みつつあります。日常生活とのつながりから気候変動への具体的な緩和と適応策を、参加者を交えて議論します。 講師 石井 雅章／温暖化防止うらやす |
| 4 | 令和7年 1月26日(日) 10:00~11:30 | 地域における生態系の大切さを理解する 浦安市のような都市部においても生き物同士のつながりである生態系が成り立っています。私たちが暮らす地域がどのような生態系と結びつき、生き物に支えられているのかを体験的に学びます。 講師 (株)自然教育研究センター（浦安市三番瀬環境観察館環境学習受託業者） |
| 5 | 令和7年 1月26日(日) 13:00~14:30 | 地域における生物多様性を実現する 生物多様性は希少種の保護という観点だけではなく、気候変動や自然災害などの影響にも緩やかに対応できるちから（レジリエンス）という観点でも重要な考え方です。地域における生物多様性の実現に向けてできる具体的なアイデアを、参加者を交えて議論します。 講師 石井 雅章／(株)自然教育研究センター（浦安市三番瀬環境観察館環境学習受託業者）／浦安三番瀬を大切にする会／浦安水辺の会 |
| 6 | 令和7年 2月9日(日) 10:00~11:30 | 浦安市クリーンセンター見学&解説 浦安市クリーンセンターを見学して、資源循環と廃棄物の問題について具体的に学びます。浦安市における再資源化と廃棄物処理の取り組みを現場レベルで理解した上で、日常生活とのつながりについて考察します。 講師 浦安市クリーンセンター |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|---|
| 7 | 令和7年 2月9日(日) 13:00~14:30 | 循環型社会の構築に向けた動きを考える 世界的に進みつつあるサーキュラー・エコノミー（資源循環型経済）の考え方を理解した上で、地域においてサーキュラー・エコノミーを具体的に推進するための工夫について、参加者を交えて議論します。 講師 石井 雅章／チーム530 |
| 8 | 令和7年 2月23日(日) 10:00~11:30 | 地域における暮らしと農林漁業のつながりを理解する 私たちが日々生きるために不可欠な食料は、自然環境への働きかけを通じて得ています。地域における農林漁業と環境との関係性を浦安市郷土博物館の見学と解説を通じて理解します。 講師 浦安市郷土博物館 |
| 9 | 令和7年 2月23日(日) 13:00~14:30 | 環境と食料、農林漁業の関係性を考える 安心・安全な食料を地域において安定的に確保するにはどのようなことが必要でしょうか。地域における農林漁業と食料確保の重要性について、具体的な取り組みを紹介しながら、参加者を交えて議論します。 講師 石井 雅章／浦安市郷土博物館 |
| 10 | 令和7年 3月9日(日) 13:00~14:30 | 持続可能な生き方・暮らし方を考える 第9回までの内容をふまえて、持続可能な生き方・暮らし方への変容に向けた具体的なアイデアを受講者自らが発表・共有します。さらに講師からのコメントをふまえて、地域で連携協力できることを考えます。 講師 石井 雅章 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

石井 雅章 先生

サステナビリティ（持続可能な社会）への移行はどの地域で暮らす人々にとっても避けることができない課題です。その実現には普段の私たちの生活（人間活動）と自然環境がお互いにどのように関係しているのかを理解することが必要です。この講座では、浦安エリアで実際に活動している皆さんによる解説や意見交換を交えて、体験的に学ぶことを目指しています。お互いの立場や考えを尊重しながら、持続可能な社会の実現に向けて一緒に学んでいきましょう。



浦安のまちづくり形成史を読み解くー市民生活を支える施設や制度からー

コーディネーター 中山 高樹（地域政策プランナー / 元浦安市市長公室長）

【科目概要】

私たちのまち「浦安」を舞台に、私たちが暮らす身近なエリアがどのように形成されてきたか、その歴史を市制施行後40年の流れを中心に学びます。今日、私たちのまちが抱えている「まちづくり」の課題は何か、その多くはそのまちの成り立ちや都市構造そのものに起因していることが多く見受けられます。

この講座では、昨年度において、「公の海」を埋め立て新しい都市づくりを進めてきた経緯を総合計画の変遷を核に「まちづくり形成史」を学びましたが、市民生活を支えてきた様々な施設や制度が、私たちが生活する身近なエリア（字や街区）にどのように影響を与えてきたかをトレースしながら、今後のまちづくりに向けたポジショニングについて共に考えます。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|----------------------------------|---|
| 1 | 令和6年 10月10日(木) 15:00~16:30 | <p>まちづくり形成史を学ぶ意義</p> <p>カリキュラムの構成とテーマを説明しつつ、自分たちが住むまち（身近なエリア）を対象として、まちを構成する施設や制度がどのように形成されてきたかを学ぶ意義を考えます。併せて受講生全員による自己紹介、関心事を述べていただくことで、受講生による情報共有を図ります。</p> <p>講師 中山 高樹（地域政策プランナー / 元浦安市市長公室長）</p> |
| 2 | 令和6年 10月24日(木) 15:00~16:30 | <p>まちをつくり替える取り組み（元町の居住環境改善事業の現場から）</p> <p>堀江・猫実の元町エリアの土地区画整理事業で新たにつくられた宅地や新たに通り抜けた道路や区画道路などを現地で見ながら、街が少しずつ変容してゆく姿を見ることを通じて、計画的に大規模につくられてきた埋立地域とは違った都市整備の魅力と難しさを現場担当者から学びます。</p> <p>講師 浦安市まちづくり事務所 / 中山 高樹</p> |
| 3 | 令和6年 11月7日(木) 15:00~16:30 | <p>住みたいまちにするため、自分たちでルールをつくる</p> <p>計画して整備されたまちでも環境を守り続けるのは大変です。隣の土地などに新たな建物が建ち近隣紛争になることなども珍しくなく、自分たちでルールづくりをすることも大切です。市内で様々な取組がなされています。それらの歴史を振り返りながら、今後の課題について話し合います。</p> <p>講師 中山 高樹</p> |
| 4 | 令和6年 11月21日(木) 15:00~16:30 | <p>道の役割とつくり方を知る</p> <p>私たちが家に住むためには、私たちが住む街とつながる道が必要不可欠です。さらにそれらの道を通じて街とつながり、さらに都市と都市を結ぶ幹線道路につながっています。また街の中には快適な生活空間を提供する道もあり、道の下には様々な施設が配置され様々な目的で利用されています。これらの歴史を学びます。</p> <p>講師 中山 高樹</p> |
| 5 | 令和6年 12月5日(木) 15:00~16:30 | <p>街と自然をつなぐみどりを育てる</p> <p>埋立地の開発が進み残されている自然を見つけ出すのは難しくなっていますが、計画的につくられた街の輪郭をつくっている緑や公園にも様々な工夫が取り込まれています。街中に点在するみどり、それを大切に育てているみどりのコミュニケーションの輪もあります。これらの歴史を振り返り今後の進め方を考えてみましょう。</p> <p>講師 中山 高樹</p> |
| 6 | 令和7年 1月16日(木) 15:00~16:30 | <p>水害との闘いと堤防で守られたまちの現状をどう改善できるか</p> <p>三方を堤防に囲まれた本市は水との闘いの歴史のまちです。カミソリ堤防に囲まれた街で安全かと言われ続けてきましたが、排水機場や水門の整備に長年取り組み、最近では大きな被害を受けていません。しかしながら、気候変動などの影響で瞬間的な降水量の増大など危険性は高まっている現在、これらの課題に対応しつつ、市民が待ち望んでいる日常的な親水性との両立をどうしたら進められるかを考えます。</p> <p>講師 中野 恒明（芝浦工業大学名誉教授） / 中山 高樹</p> |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|---|
| 7 | 令和7年 1月30日(木) 15:00~16:30 | <p>目の前に広がる海とどう付き合う</p> <p>埋立地の先端に行ってもコンクリート護岸とその先にはテトラポットがあるのみで、海で泳いだり砂浜で遊んだりすることはできません。浅い海を埋め立てて4.5Mの高さで造成した土地のせいです。目の前に広がる海を再認識し、浦安ならでの海の利用やつきあい方を模索している団体も出てきています。海に囲まれて暮らす私たちは、海とどのように付き合っていけば良いかを考えます。</p> <p>講師 中山 高樹</p> |
| 8 | 令和7年 2月13日(木) 15:00~16:30 | <p>防災とまちづくりを事前と事後で考える</p> <p>東日本大震災時に液状化で大きな被害を受けた浦安ですが、今後想定される首都圏直下型地震が起きた時、どんなことが起こるのでしょうか？地震による被害を少なくする、地震後でも人間らしい生活を送るため事前に備えておくべきことは？そして直後から対応を求められる行政の取り組みとは別に、市民一人一人が取り組むべき所有者による再建復興が不可欠になります。</p> <p>講師 小林 恭一（東京理科大学名誉教授）/ 中山 高樹</p> |
| 9 | 令和7年 2月27日(木) 15:00~16:30 | <p>まち中の施設や居場所を使い込んでいくために必要なことは</p> <p>市内にある様々な施設は、市民ニーズに合わせて市民が使うために作られます。でも、子どもたちが大人になり、大人たちが老人になるように、住む人の成長や変化に伴い市民ニーズも変わってきます。与えられた施設を自分たちの使い勝手のよいものに、より住みやすいまちに変えていくには行政との連携や協力のためのプロセスが必要です。浦安の連携と協力の歩みについて考えてみましょう。</p> <p>講師 泉沢 佐江子（元浦安市職員）/ 中山 高樹</p> |
| 10 | 令和7年 3月13日(木) 15:00~16:30 | <p>集まって住むことの意味を考えよう</p> <p>私たちは日々大勢の人たちと暮らしています。なぜ集まりどんな関係を持ちながら暮らしているのでしょうか？改めて計画的につくられてきた場所に集まって住む理由は何か、集まって住むことで得られる利便は何か？集まって住むために我慢すべきルールは何か？そして集まって住むことの基礎となる地域社会（人がつくりだすコミュニティ）にどう関わって来たか、今後どう関わるかを考えます。</p> <p>講師 中山 高樹</p> |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

中山 高樹 先生

昨年に引き続き、私たちのまち「浦安」を舞台に、私たちが暮らす身近なエリアがどのように形成されてきたか、その歴史を学びます。浦安市で取り組んだ市民生活を支えてきた様々な施設や制度が、私たちの生活する身近なエリア（字や街区）にどのように影響を与えてきたか考えます。



まちづくり活動ブラッシュアップ講座ー活動の質を高めるためにー

コーディネーター 朽木 量（千葉商科大学政策情報学部教授）

【科目概要】

地域活動を行う団体は数多くありますが、それらの団体全てが上手く経営できているとは限りません。

本講座は、マネジメントやマーケティング、地域分析やクラウドソーシングなどの知識・スキルを身に付けて、受講者の皆様が取り組んでいる（あるいは立ち上げようとしている）地域活動の効率的な運営と質の向上のノウハウを伝える講座です。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|----------------------------------|---|
| 1 | 令和6年 10月12日(土) 10:00~11:30 | 地域活動についての思いを可視化してみよう 本プログラム全体を通じて身につける地域活動団体の運営や中間支援のスキルをワークショップ形式で可視化して、目的意識をはっきりさせます。 講師 朽木 量（千葉商科大学政策情報学部教授） |
| 2 | 令和6年 10月26日(土) 10:00~11:30 | 非営利組織におけるマーケティング 営利を目的としない活動において、マーケティングがどのような意味を持つのか、また、いかにして適応できるかを考えます。 講師 坂本 旬（千葉商科大学政策情報学部准教授） |
| 3 | 令和6年 11月2日(土) 10:00~11:30 | 非営利組織のマネジメントと戦略 経営学において、営利を目的としない活動に対して有効となる考え方を検討し、そうした活動にいかにしてつなげていくかを考えます。 講師 坂本 旬 |
| 4 | 令和6年 11月9日(土) 10:00~11:30 | 非営利組織のための地域分析 無料公開されているポータルサイトを利用して、個別の地区の地域分析する方法について説明していきます。 講師 朽木 量 |
| 5 | 令和6年 11月23日(土) 10:00~11:30 | クラウドソーシングの概要 情報通信技術の発達によりもたらされたクラウドソーシングの実践的活用法について学んでいきます。 講師 熊野 健志（非営利活動法人いちかわライフネットワーククラブ副理事長） |
| 6 | 令和6年 11月30日(土) 10:00~11:30 | 首都近郊における地域活動の実際と未来 人口動態の変化を前提に首都近郊における地域活動とその担い手にはどのような可能性があるか、市川市での実践をもとに提案いたします。 講師 熊野 健志 |
| 7 | 令和6年 12月14日(土) 10:00~11:30 | 気付きを与える質問力と傾聴力 ファシリテーションの基礎となる質問力と傾聴力について実践的に学んでいきます。 講師 影山 貴大（J-doc company .LLC 代表社員） |
| 8 | 令和6年 12月21日(土) 10:00~11:30 | 大学生・ワカモノとの活動の広げ方 大学生をはじめとする10～20代のユース・若手の現役層と繋がって自らの地域活動を活性化する方法について考えます。 講師 大石 果菜（淑徳大学地域共生センターコーディネーター） |

| 回 | 日 程 | 内 容 |
|----|---------------------------------|--|
| 9 | 令和7年 1月11日(土) 10:00~11:30 | ファシリテーション概論 地域の現場や会議の場で必要となるファシリテーションの基礎について実践的に学んでいきます。 講師 影山 貴大 |
| 10 | 令和7年 1月18日(土) 10:00~11:30 | まとめ・気づきを広げていくには 本プログラム全体を通じて身につけた気づき・学び・スキルをワークショップ形式で可視化して、次の一歩につなげていきます。 講師 朽木 量 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

朽木 量 先生

地域活動団体の多くは、活動に対する情熱が先行して立ち上げられたものが多く、必ずしも効率的な運営が出来ているとは限りません。団体を運営する為のコツを、経営（マネジメント）・マーケティング・地域分析・外部委託（クラウドソーシング）・会議を活性化するためのファシリテーション技法・世代を超えて活動を継続させていくための若者とのつながり方といった観点から解説していきます。地域活動団体を運営している方、これから立ち上げたいと思っている方へ向けて、ご自身の活動をより活性化させるためのノウハウをこの講座から学んでみませんか。



地域で支える子育て環境—全てのこどもが安心して育つことができる地域を創る—

コーディネーター 矢藤 誠慈郎（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）

【科目概要】

令和5年4月1日にこども基本法が施行され、その基本理念は、全てのこどもが尊重され、大切にされ、健やかに育ち、社会的活動の主体として扱われることを求めています。この講座では、「全てのこども」に含まれる多様なこどもたちの具体的な姿を踏まえて、その課題の解決のために、地域の住民あるいは専門家として何ができるかについて、ともに考えていきます。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|----------------------------------|--|
| 1 | 令和6年 10月19日(土) 13:00~14:30 | 外国にルーツを持つこどもを地域で支える（1） 外国にルーツを持つこどもたちが等しく育ち、学ぶ権利を実現するために、地域の住民や専門家にどのような支援ができるかについて、実践的な事例を踏まえて学びます。（コーディネーターによる講座のガイダンスを冒頭に行います。） 講師 内田 千春（東洋大学福祉社会デザイン学部子ども支援学科教授）/ 矢藤 誠慈郎（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授） |
| 2 | 令和6年 10月19日(土) 14:45~16:15 | 外国にルーツを持つこどもを地域で支える（2） （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、外国にルーツを持つこどもたちを地域で支えるための取組について考えます。 講師 内田 千春 / 矢藤 誠慈郎 |
| 3 | 令和6年 11月2日(土) 13:00~14:30 | 地域で子育てを支える（1） 子育てが幸せで楽しいものになるために、地域の住民や専門家にどのような支援ができるかについて、子どもとの向き合い方を踏まえて学びます。 講師 高祖 常子（子育てアドバイザー / キャリアコンサルタント） / 矢藤 誠慈郎 |
| 4 | 令和6年 11月2日(土) 14:45~16:15 | 地域で子育てを支える（2） （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、地域で子育てを支える取組について考えます。 講師 高祖 常子 / 矢藤 誠慈郎 |
| 5 | 令和6年 11月16日(土) 13:00~14:30 | 地域の力を活かしてこどもを支える（1） さまざまな地域住民の力を生かした子育て環境づくりについて、こどもと高齢者との交流事業やこども食堂の取組等を事例に学びます。 講師 権 法珠（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授） / 矢藤 誠慈郎 |
| 6 | 令和6年 11月16日(土) 14:45~16:15 | 地域の力を活かしてこどもを支える（2） （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、地域の力を活かした子育て環境づくりの取組について考えます。 講師 権 法珠 / 矢藤 誠慈郎 |
| 7 | 令和6年 11月30日(土) 13:00~14:30 | 特別な支援が必要なこどもを地域で支える（1） 耳が聞こえないこどもが音楽を楽しむなど、障害を持つこどもたちも等しく多様な経験をするために、地域の住民や専門家にどのような支援ができるかについて、事例を踏まえて学びます。 講師 外崎 純恵（和洋女子大学人文学部こども発達学科助手） / 矢藤 誠慈郎 |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|----------------------------------|---|
| 8 | 令和6年 11月30日(土) 14:45~16:15 | 特別な支援が必要な子どもを地域で支える（2） （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、特別な支援が必要な子どもたちを地域で支えるための取組について考えます。 講師 外崎 純恵 / 矢藤 誠慈郎 |
| 9 | 令和6年 12月14日(土) 13:00~14:30 | これまでの学びを振り返る ワークショップを通じてこれまでの学びを振り返り、地域で支える子育て環境づくりの課題を抽出します。 講師 矢藤 誠慈郎 |
| 10 | 令和6年 12月14日(土) 14:45~16:15 | 地域で支える子育て環境を創る 全ての子どもを地域で支えるために、どのような子育て環境を創り出していくかについて、ワークショップを通じてそれぞれの立場で具体的にできることを考えていきます。 講師 矢藤 誠慈郎 |

備考

- 科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。
- 6ヶ月児以上の託児保育があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

矢藤 誠慈郎 先生

現代は、地域社会のつながりが弱まったなか孤立した家庭で子育てが営まれる傾向が強く、親の子育てへの責任や負担が大きな社会です。全ての子どもが尊重され、愛され、安心して未来に向かって育っていけるよう、社会のみんなで支えることがより求められています。「全ての子ども」にどのような子どもたちがいるのか、また多様な子どもたちのあり方や状況や支援などについて具体的に学び、それぞれの立場で何ができるかをともに考えていきましょう。



浦安で、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くために ～居場所・つながり・お互い様がなぜ必要なのかを考えます～

コーディネーター 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）

【科目概要】

岩室紳也は今でも様々な患者さんの診療をさせていただいている医者です。がん・悪性腫瘍を含め、様々な泌尿器科の疾患を持っている方だけではなく、HIV/AIDS、薬物依存症、様々な障がいを抱えている方々と外来という場を活用して向き合い続けてきました。その一方で、「公衆衛生」という講座を担当させていただいているように、病気や感染症の予防から、一人ひとりにとって大事なことは、最期まで、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くことを一体的に考えられるまちづくりを模索し続けています。

もちろん楽しく生き抜くためには何より健康であることが大事です。しかし、多くの人は健康というと個人が「運動・栄養・休養」といった課題に取り組むことと理解しています。もちろんそれも大事ですが、コロナ禍で多くの人が疲弊し、高齢者のフレイル（虚弱な状態）が、自死が、不登校が増えました。一方で公衆衛生の常識として多くの人とつながりを持ち続けている方は元気で長生きだということこれは多くの研究者が証明してくれています。健康づくりで大事なことは、一人ひとりがつながるために、できる人が、できることを、できる時に、できるようにすることです。

岩室は長年、浦安市の地域包括ケア評価会議のアドバイザーとして、市民の皆様、行政の職員、そして専門家の方々と一緒に、「居場所・つながり・お互い様」のまちづくりを模索してきました。一人ひとりが、気が付けば、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜ける浦安づくりに向けて、この講座でも皆様と一緒に次なるステップを考え、見いだせたらと思っています。

（この講座は、令和6年10月から始まる「公衆衛生 - 健康づくり、元気づくりの基本となる考え方を整理します -」と連動していますので、連続受講でさらに理解が深まります。また、講座では一方的な講義だけではなく、受講生同士さらには、講師陣等との対話、つながりづくりを重視していますので、反復して受講される方も少なくありません）

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|---------------------------------|--|
| 1 | 令和7年 4月9日(水) 13:00~14:30 | オリエンテーション 一人ひとりに「必要なこと」を再考します 講座が目指すところを確認し、お互いを知りあう 講師 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表） |
| 2 | 令和7年 4月23日(水) 13:00~14:30 | コロナ対策の副作用を考える 感染予防と人と人の交流の狭間で 講師 岩室 紳也 |
| 3 | 令和7年 5月14日(水) 13:00~14:30 | きょうよう、きょういくの大切さ 教養、教育だけでは健康になれない?!? 必要なことは・・・ 講師 岩室 紳也 |
| 4 | 令和7年 5月28日(水) 13:00~14:30 | 生老病死をどう生き抜くか できる人が、できる時に、できることをする大切さ 講師 岩室 紳也 |
| 5 | 令和7年 6月11日(水) 13:00~14:30 | 市民と行政が一体となった地域づくり 健康づくりで不可欠な地域づくりとは 講師 岩室 紳也 |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|--|
| 6 | 令和7年 6月25日(水) 13:00~14:30 | 高齢者を支える「地域包括ケア」って何？ 浦安市の先進的な地域包括ケアシステムを学ぶ 講師 岩室 紳也 / 中央地域包括支援センター |
| 7 | 令和7年 7月16日(水) 13:00~14:30 | こころがつらい人が増える理由 うつ、不登校、家庭内暴力、犯罪、等々が増える理由、減らすコツ 講師 岩室 紳也 |
| 8 | 令和7年 7月30日(水) 13:00~14:30 | 人と人をつなぐ、人と人がつながる浦安市 浦安市が仕掛けている元気と健康づくり 講師 岩室 紳也 / 浦安介護予防アカデミア |
| 9 | 令和7年 8月20日(水) 13:00~14:30 | 医療を上手に活用するのは住民一人ひとり 住民が医療の主役であるためにできること 講師 岩室 紳也 |
| 10 | 令和7年 9月10日(水) 13:00~14:30 | 私が実践したいこと、実践していること 講座の学びを実践につなげるには 講師 岩室 紳也 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

岩室 紳也 先生

インターネットには様々な情報があり、生成 AI を駆使すれば自分自身に必要な情報は簡単に得られます。しかし、そのような時代だからこそ大事なのが「居場所」、「つながり」、「お互い様」です。この講座では参加者同士の交流はもちろんのこと、市役所の職員の方や、市と協働しながら市民の健康づくりを支えておられる方との仲間づくりを狙っています。ぜひ一緒に楽しい時間をすごしましょう。



花のまちづくりガーデニング講座－花と緑、彩り溢れる花のまちを目指して－

コーディネーター 大嶋 陽子（ガーデンデザイナー／E&G アカデミー講師）

【科目概要】

本講座は10年に亘って「うらやすのまちを花で彩る」ことを目標に継続的に開催しております。講座では園芸を始めるための基礎知識の習得、花壇づくりの方法、さまざまな場面で活用できる実践的な実習などを業界で活躍する経験豊富な講師から広く学ぶことができます。初心者から経験者まで、楽しく園芸やガーデニングを学びたい方、花を通じた社会貢献やコミュニケーション活動に興味のある市民の皆様のご参加をお待ちしております。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|---------------------------------|--|
| 1 | 令和7年 4月7日(月) 15:00～16:30 | 園芸の基礎講座 花壇づくりに適する草花の種類、土や肥料、道具類など園芸の基礎知識を学びます。 講師 大嶋 陽子（ガーデンデザイナー／E&G アカデミー講師） |
| 2 | 令和7年 4月21日(月) 15:00～16:30 | 種まき・苗づくり（実習その1） 花壇づくりに必要な種まきの仕方、苗づくりの方法、良い苗の選び方などについて実習します。 講師 大嶋 陽子／うらやすガーデナズクラブ |
| 3 | 令和7年 5月12日(月) 15:00～16:30 | 外国人を感嘆させた幕末・明治の園芸事情 わが国は江戸時代に当時の世界最高水準の園芸文化を誇り、幕末から明治初期にわが国を訪れた外国人たちを驚嘆させました。今一度、日本人の花や緑と付き合う暮らしの様子から美しい浦安づくりへの示唆を学びます。 講師 賀来 宏和（千葉大学大学院園芸学研究科客員教授） ／浦安市みどり公園課／大嶋 陽子 |
| 4 | 令和7年 5月26日(月) 15:00～16:30 | ハンギングバスケットづくりと楽しみ方（実習その2） ハンギングバスケットの楽しみ方を学び、実際に夏に向けてのハンギングバスケットづくりの実習を行います。 講師 山口 まり（ハンギングバスケット協会理事／園芸研究家／NHK「趣味の園芸」講師）／大嶋 陽子 |
| 5 | 令和7年 6月9日(月) 15:00～16:30 | 花壇づくりの基礎知識 花壇やコンテナガーデンをつくるための基礎知識や日常的な管理方法について学びます。 講師 大嶋 陽子 |
| 6 | 令和7年 6月23日(月) 15:00～16:30 | 挿し芽や挿し木による増殖（実習その3） 宿根草や花木の挿し穂の作り方や使用する用土の知識、発根促進の方法とその後の管理について実習します。 講師 大嶋 陽子／うらやすガーデナズクラブ |
| 7 | 令和7年 7月14日(月) 15:00～16:30 | 園芸のトレンドと植物選びのポイント 注目の園芸植物やカラーリーフなど、花壇づくりに役立つ植物の選び方や入手の仕方、栽培方法について学びます。 講師 片山 陽介（園芸研究家／植物自由区）／大嶋 陽子 |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|--|
| 8 | 令和7年 8月25日(月) 15:00~16:30 | バラの栽培基礎と草花の合わせ方 バラの基礎知識と選び方や育て方、バラと草花でつくる花壇デザインのコツを学びます。 講師 大嶋 陽子 |
| 9 | 令和7年 9月8日(月) 15:00~16:30 | 花壇づくりの実践（実習その4） 花壇づくりの基礎知識をもとに、実際の花壇を使って土づくり、苗の選び方、植え方などを実習します。 講師 大嶋 陽子／うらやすガーデナズクラブ |
| 10 | 令和7年 9月22日(月) 13:00~16:30 | 花のまちづくり運動と浦安での事例 全国で行われている花のまちづくりの事例とともに連携協力して行う花のまちづくりを進める上での要点などを学びます。また、浦安市内で行われている市民による緑化活動の現場を訪ねて、交流を図ります。 講師 和田 博幸（公益財団法人日本花の会特任研究員） ／浦安市みどり公園課／大嶋 陽子 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

大嶋 陽子 先生

花と緑で気持ちの良い環境と暮らしやすいまちづくりを目指します。地球温暖化や環境の変化により植物の育つ状況も変わりつつありますが、植物の基礎知識から応用、新しい園芸情報もお伝えしながら楽しくガーデニングを学びましょう。実習ではグループでの楽しい交流や、手や体で感じる植物との触れ合いも経験していただけます。身近な緑に関心を持つきっかけとなり、浦安市の花のまちづくり活動にも役立つ講座にしていきたいと思ひます。



家族とまち・マンションを守るみんなの防災—自助なくして、共助なし—

コーディネーター 中林 一樹（東京都立大学名誉教授）
 インストラクター 吉川 忠寛（防災都市計画研究所代表）

【科目概要】

阪神・淡路大震災(1995)、新潟県中越地震(2004)、東日本大震災(2011)、熊本地震(2016)、北海道胆振東部地震(2018)、能登半島地震(2024)と震度7の地震が頻発しています。その間にも各地で風水害が発生し、千葉県も被災しました。このような荒ぶる21世紀に私たちは生きています。災害の続発は、一つの災害が復旧・復興する間もなく次の災害に襲われ、被災地がさらに拡大するような、“複合災害の時代”なのです。このような時代に、私たちは首都直下地震を中心に水害にも備えて、どのように家族とまち・マンションを守ることができるでしょうか。「家族とまち・マンションを守る一人一人の防災」を考え、家族ぐるみ・まちやマンションぐるみで防災に取り組みましょう。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|---------------------------------|--|
| 1 | 令和7年 5月10日(土) 13:00~14:30 | <p>災害とは何か、防災とは何か</p> <p>災害とは何か。大きな地震や台風が発生することが災害でしょうか。被害が出なければ、どんな大きな地震や台風でも災害ではありません。災害の発生とは、地震や台風などの外力に対して建物やまちに被害が出ることで、防災とはその被害を軽減することです。</p> <p>講師 中林 一樹（東京都立大学名誉教授）</p> |
| 2 | 令和7年 5月10日(土) 15:00~16:30 | <p>最近の災害にみる特徴と課題—複合災害が被害を拡大する—</p> <p>阪神・淡路大震災以降、毎年のように地震災害や風水害が発生し、しかも被害が重なって災害が複合化して、被害が激甚化していく「複合災害の時代」に向かっています。最近の災害の特徴とその課題を考えます。</p> <p>講師 中林 一樹</p> |
| 3 | 令和7年 5月24日(土) 13:00~14:30 | <p>「首都直下地震」の被害想定と被災様相</p> <p>首都直下地震の被害想定（内閣府 2013）や東京都の被害想定（2022）から首都圏を襲う震災の特徴とその課題を考えます。浦安市を取り巻く首都圏のリスクとは、定量的に想定できる建物被害とともに定性的に被害想定されている広域電力喪失、在宅避難と関連死などのようなリスクについて考えます。</p> <p>講師 中林 一樹</p> |
| 4 | 令和7年 5月24日(土) 15:00~16:30 | <p>浦安直下地震の被害想定と被災様相</p> <p>東日本大震災時の浦安の被害と浦安直下地震の被害想定（2013）を比較して、首都直下地震時やその後に危惧される風水害との複合災害に対する浦安のリスクをみんなで“想像”し、どのように備えるべきかを話し合ってみましょう。</p> <p>講師 中林 一樹 *宿題：我が家の「家具配置・食の備蓄」の点検</p> |
| 5 | 令和7年 6月7日(土) 13:00~14:30 | <p>自助の取り組み① 我が家の耐震化・家具の固定</p> <p>地震災害対策の基本は地震動に対する被害軽減です。建物の揺れ方の特徴を学び、建物と室内空間の耐震化、とくに家具配置・照明器具など、受講生の皆さんが「我が家の室内の安全化」に向けた“改造プラン”を考える機会としましょう。</p> <p>講師 中林 一樹</p> |
| 6 | 令和7年 6月7日(土) 15:00~16:30 | <p>自助の取り組み② 我が家の食・トイレの備え</p> <p>コロナ対策をきっかけに、避難所避難のみならず、在宅避難、縁故避難などの分散避難が提案されています。また、避難所でも三密防止が標準化しつつあります。「災害時は避難所へ」から「災害時も在宅避難で」変わってきました。その時に、家族が最低1週間を生き延びるための我が家の「食・飲料水・トイレ」など備蓄や準備を考えます。</p> <p>講師 中林 一樹</p> |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|---|
| 7 | 令和7年 6月21日(土) 13:00~14:30 | 浦安の「防災まち歩き」(グループ) 歴史的な浦安の街並みが残る「猫実地区のまち歩き」で、なつかしい街並みですが、避難や災害対応活動も困難な基盤整備状況の木造住宅密集地区での防災まちづくりの取り組みとその意義を考えます。 講師 中林 一樹/吉川 忠寛 (防災都市計画研究所代表) |
| 8 | 令和7年 6月21日(土) 15:00~16:30 | 浦安の「防災まち歩き」のまとめ(ワークショップ) 「猫実地区の防災課題」を整理し、こうした歴史的な街並みと新しいマンションを中心とする地域で構成された浦安のまちで生き延びるための、地域連携によるみんなでとりくむ“浦安防災”を、考えてみましょう。 講師 中林 一樹/吉川 忠寛 |
| 9 | 令和7年 7月5日(土) 13:00~14:30 | 共助の取組① 被災後の安否確認・要配慮者支援・避難生活支援 マンション団地居住者と一般市街地居住者のグループにわかれて、被災直後の安否確認・要配慮者支援、マンションの在宅避難と地域の避難所避難の支援(共助)、在宅避難と避難所避難の運営を考えてみましょう。 講師 中林 一樹/吉川 忠寛 |
| 10 | 令和7年 7月5日(土) 15:00~16:30 | 共助の取組② 被災からの住いの復旧・再建プロセス マンション団地居住者と一般市街地居住者のグループにわかれて、緊急避難→避難生活→仮住まい→住宅再建に向かって、どのように被災後の暮らしを展開し、被災した住いを再建していくのか、被災者の復旧・復興の取組み(プロセス)を考えてみましょう。 講師 中林 一樹/吉川 忠寛 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

中林 一樹 先生

阪神・淡路大震災から30年が過ぎ、東日本大震災から15年目を迎え、能登半島地震からの2年目。この間に最大震度7の地震はその間隔を縮めつつ6回も発生し、その間に各地で風水害が多発しています。災害の複合化「複合災害」を迎え撃つ我々のまちは、史上初の超少子高齢化が進んだ漸弱な地域社会に向かっていきます。

そんな災害多発の時代に、私たちが取り組む防災の基本は、まず一人一人が被害者にならないように自分と家族を守る「自助の取り組み」が最も基本です。その上で、街にマンションに被害を免れた人がどれだけいるかが、近隣の共助「近助」こそが、災害時の共助なのです。つまり「自助が共助を可能とする」のだし、「自助なくして共助なし」です。どう取り組むのか、自分事としてワークショップやまち歩きで学びましょう。



多文化共生を進めるために

コーディネーター 上杉 恵美（明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授）

【科目概要】

私たちは今、国籍や民族が異なる様々な人々が生活する「多文化共生社会」の中にいます。本講座では、言語・暮らし・観光・国際協力などをテーマに取り上げ、留学生たちとの交流も含めて活気あるディスカッションやワークショップを行います。この講座を通して様々な国の歴史背景や文化を知り、それぞれの意見や文化への理解を深めて、「共に生きる」ことの大切さを実感しませんか？

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|---------------------------------|---|
| 1 | 令和7年 5月17日(土) 13:00~14:30 | <p>浦安市における多文化共生の取り組みと外国人市民の生活</p> <p>「浦安市多文化共生推進プラン」の概要や、浦安市における外国人相談窓口の状況を学びます。また、留学生をパネリストに迎えてパネルディスカッションを行い、外国人が感じる日本での生活について考えます。</p> <p>講師 浦安市地域振興課／明海大学留学生／上杉 恵美（明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授）</p> |
| 2 | 令和7年 5月17日(土) 15:00~16:30 | <p>観光を通じた国際理解</p> <p>経験豊かな通訳ガイドと一緒に国際理解を考えます。日本を訪れる外国人観光客の対応を通して、お国柄の違い、日本国内を案内中のエピソード、お客様とのコミュニケーションの取り方などについてお話ししていただきます。</p> <p>講師 信常 幸恵（明海大学講師／全国通訳案内士）／上杉 恵美</p> |
| 3 | 令和7年 5月31日(土) 13:00~14:30 | <p>市民の活躍による「日本語学習支援」や「災害時の外国人支援」</p> <p>外国人市民のための日本語学習や災害時の支援は、浦安市と市民ボランティアが協力して行っています。これらの支援の体制や仕組みを知り、ボランティアに求められる役割や心構えを学びます。</p> <p>講師 浦安市国際交流協会／浦安市国際センター／上杉 恵美</p> |
| 4 | 令和7年 5月31日(土) 15:00~16:30 | <p>やさしい日本語の普及</p> <p>浦安市国際交流協会が行っているやさしい日本語の普及の取り組みを知り、やさしい日本語の作り方の基礎を学びます。</p> <p>講師 浦安市国際交流協会（UIFA）／上杉 恵美</p> |
| 5 | 令和7年 6月14日(土) 13:00~14:30 | <p>ビジネスにおける国際理解</p> <p>旅行会社と総合商社勤務を経て起業し、国内外において多様なビジネスを活用し、様々な社会問題の解決に取り組む明海大学卒業生が、起業に至った経緯やビジネスにおける異文化コミュニケーションについて実体験をもとに話します。</p> <p>講師 横山 ひろ美（(株)WELLPORT 代表取締役）／上杉 恵美</p> |
| 6 | 令和7年 6月14日(土) 15:00~16:30 | <p>市民の国際協力について知る</p> <p>リサイクルや創作などの活動を行うとともに、国際協力を行っている市民活動団体の取り組みなどについて知ります。</p> <p>講師 国際協力を行っている市民活動団体など／上杉 恵美</p> |
| 7 | 令和7年 6月28日(土) 13:00~14:30 | <p>浦安市における多言語表記の取り組み</p> <p>浦安市のホームページや「広報うらやす」英語版 City News、市内の公共交通機関や交通標識、諸施設における案内文などの現状を、受講生が調べて報告します。</p> <p>講師 上杉 恵美</p> |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|---|
| 8 | 令和7年 6月28日(土) 15:00~16:30 | ワークショップ「Word Composition」 「多文化共生」・「国際理解」といえば、どんな言葉が思い浮かびますか？その言葉を活字にして、自分だけのアート作品を作ります。文字を組み合わせて作品を製作するプロセスも楽しみましょう！ 講師 上杉 恵美／明海大学留学生 |
| 9 | 令和7年 7月12日(土) 13:00~14:30 | ラグビーを通じた国際理解 ラグビーチーム「浦安 D-Rocks」と一緒に多文化共生を考えます。外国人選手の構成と出身国の歴史文化、日本人選手やスタッフとのコミュニケーション、浦安市民との交流などについてお話しさせていただきます。 講師 浦安 D-Rocks の皆さん／上杉 恵美 |
| 10 | 令和7年 7月12日(土) 15:00~16:30 | 多文化共生・ふり返りと今後の取り組み 本講座を通して学んだことや体験したことをふり返し、レポートにまとめた内容をふまえて、受講者それぞれが今後の具体的な活動計画を発表します。 講師 上杉 恵美 |

備考

- 科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。
- 受講生の皆さんが意見や考えをまとめる機会として、レポートを作成し提出していただきます。（提出期限は後日お伝えします。）最終回はそのレポートをもとに発表をしていただきます。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

上杉 恵美 先生

浦安市では多様な歴史・文化背景を持つ人々が生活していますが、誰もが暮らしやすい街にするためにはどのような意識や取り組みが必要でしょうか？本講座では、留学生や国際理解・国際協力の活動を進めている方々との交流を含めて、さまざまな立場や切り口から受講者の皆さんに「多文化共生」を考える機会を提供します。本講座をきっかけに、皆さん自身が「多文化共生」につながる具体的なアクションを起こしてくださることを期待します。



わたしのまちづくり活動—ずっと暮らしたい“うらやす”へ—

コーディネーター 畑山 文恵（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット理事長）

【科目概要】

私たちの暮らしの中には、さまざまなニーズや課題があります。これらは、多様化しているばかりか、その状況も変化し続けています。このニーズや課題解決には、市民の力が不可欠といわれていますが、加えて、行政や他の団体、機関などとの協力関係、連携、また、地域における緩やかなつながりも必要です。

この講座では、まちづくり活動について理解を深め、その事例から多くの気づき、学びを得ます。さらに具体的に身近で感じている“まちのお困りごと”について深掘りし、「わたしのまちづくり活動」へとつなげます。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|---------------------------------|--|
| 1 | 令和7年 4月20日(日) 13:00~14:30 | まちづくり活動とは何か まちづくり活動の現状を学び、そのイメージを明確にします。そして、活動のポイント、コミュニティ、他者との関わり、連携等について学びます。 講師 鍋嶋 洋子（認定特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ事務局長）／畑山 文恵（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット理事長） |
| 2 | 令和7年 4月20日(日) 15:00~16:30 | わたしが見つけたまちづくり活動 グループワークでは、身近にある“気になること、お困りごと”など地域課題について話し合い、その解決方法について考えます。 講師 鍋嶋 洋子／特定非営利活動法人浦安まちづくりネット |
| 3 | 令和7年 5月18日(日) 13:00~14:30 | 公園ボランティアから考えるまちづくり活動 市民が集い憩う場所のひとつが公園です。公園ボランティア活動を基点にさまざまな活動を展開している弁天ふれあいの森公園を訪れ、公園の果たす役割、多彩なボランティア活動、浦安市とのパートナーシップについて学びます。 講師 後藤 隆（ふれあいの森公園を育む会代表）／畑山 文恵 |
| 4 | 令和7年 6月1日(日) 13:00~14:30 | 浦安の自治会活動～入船北エステート自治会の場合 元町・中町・新町と3つのエリアに分かれる浦安ですが、中町地区にある入船北エステート自治会の活動、さまざまな取り組みの紹介、また、地域コミュニティ、防災、高齢化問題などの課題にも触れます。 講師 亀井 克一（入船北エステート自治会会長）／畑山 文恵 |
| 5 | 令和7年 6月22日(日) 13:00~14:30 | 浦安市の高齢化の現状と高齢者の居場所作り～通いの場について学ぶ 急速に高齢化が進んでいる浦安市の現状について学び、高齢社会がもたらす課題のひとつ、ひきこもりや孤立化を防ぐ手立て「地域の居場所」について学びます。通いの場立ち上げの経緯から「思いをカタチにすること」についても理解を深めます。 講師 藤居 由美子（通いの場「藤松庵」代表）／浦安市高齢者包括支援課／畑山 文恵 |
| 6 | 令和7年 7月6日(日) 13:00~14:30 | NPO をサポートする！～たなばたマルシェの取り組み 中間支援団体（NPO を支援する NPO）の活動について～浦安の地域課題や NPO 団体が抱える課題、NPO と行政・企業のつながりなど、現状を理解します。中間支援としての取り組みのひとつ、たなばたマルシェを見学し、参加団体の方々にもお話しを伺います。 講師 畑山 文恵（特定非営利活動法人浦安まちづくりネット理事長） |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|--|
| 7 | 令和7年 7月27日(日) 13:00~14:30 | 浦安のこども食堂について学ぶ こども食堂はさまざまな人たちとのつながりによって、事業が広がっています。立ち上げまでのストーリーやその後の事業運営、資金調達、行政や他団体との連携について学び、地域におけるこどもを取り巻く状況、居場所について考えます。 講師 高嶋 賢一（一般社団法人スマイルこども食堂浦安代表）／畑山 文恵 |
| 8 | 令和7年 7月下旬~8月 | 活動体験～思いを現場へ 活動体験リストから興味関心のある団体を選び、活動を体験します。現場でしかわからないこと、そこで見えてくるさまざまな課題について、実体験を通して考えます。 講師 畑山 文恵 |
| 9 | 令和7年 9月7日(日) 13:00~14:30 | 講座の振り返り 第8回活動体験の共有とこれまでの講座の気づきや感想について話し合い、どうすれば、みんながずっと暮らしたいと思う“うらやす”になるか、意見交換を行います。 講師 畑山 文恵 |
| 10 | 令和7年 9月7日(日) 15:00~16:30 | 発表「わたしのまちづくり活動」 これまでの講座での気づき、学びを活かして、参加者が考える地域課題、その解決につながる方法について発表します。 講師 畑山 文恵 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

畑山 文恵 先生

まちづくり活動は積極的にまちに出て人とつながり、課題解決していく中で、やりがいを感じながら「ずっと暮らしたいと思うまち」「もっと好きになるまち」を目指すことでもあります。この講座では、いくつかの事例を通して学び、考え、まずは「わたしのまちづくり活動」を見つけましょう。そして、次に行動に移すことで「わたしたちのまちづくり活動」へとつなげていきます。



高齢化する市民社会における経済と法—市民社会の「知」の探求—

コーディネーター 兼重 賢太郎（明海大学不動産学部教授）

【科目概要】

これからの日本社会では、大都市圏においても、財政的・都市空間的にダウンサイジング（縮退化）の局面を迎えることが予想されます。現在は、豊かな財政を誇り、住民の平均年齢が千葉県内で最も若い浦安市においても、将来、この流れとまったく無縁であり続けることは難しいものと考えられます。

このような認識のもと、本講義では、浦安市のもつポテンシャルと課題を踏まえつつ、今後予想される社会経済動向やライフスタイルの変化に着目しながら、主に経済学的・法学的観点から、これからの地域社会を主体的に支えていく市民として必要な視点・社会との関わりかたなどについて、受講生の皆さんと一緒に考えていく予定です。

| 回 | 日程 | 内容 |
|---|---------------------------------|--|
| 1 | 令和7年 4月23日(水) 10:00~11:30 | ガイダンス、財政問題と税の将来 はじめに、この講義全体のねらいについてお話しします。次に、市民社会を支える財源である税とその使い途について、直近のデータ等をみながら現状を把握し、これからのありかたについて考えます。 講師 藤原 徹（元明海学教授）／兼重 賢太郎（明海大学不動産学部教授） |
| 2 | 令和7年 5月7日(水) 10:00~11:30 | 「都市」としての浦安市 高齢化の進展とともに、過疎の問題に悩まされる自治体は少なくありません。一方、浦安市は約17万人の人口を抱える都市であると同時に、東京のベッドタウンとしての顔も持っています。人々が集まる「都市」はなぜ形成されるのでしょうか。「都市」にはどのような利点や問題点があり、どのような政策が必要とされるのでしょうか。経済学的な視点を紹介しつつ、これからのありかたについて考えます。 講師 藤原 徹／兼重 賢太郎 |
| 3 | 令和7年 5月21日(水) 10:00~11:30 | 公共施設・公共サービスの料金設定のありかた 浦安市は、現時点では豊かな財政状況ですので、公共施設や公共サービスの利用料金は無料あるいは低く抑えられるべきだと考える方もいらっしゃることでしょう。この回では、公共施設や公共サービスの料金設定のありかたや運営上の課題について考えます。 講師 藤原 徹／兼重 賢太郎 |
| 4 | 令和7年 6月4日(水) 10:00~11:30 | 事業評価の方法 新規の公共事業を実施すべきかどうかはどのように判断すればよいのでしょうか。「無駄」な公共事業や公共事業の「必要性」とはどのような意味でしょうか。費用便益分析や費用対効果分析といった、事業評価の手法のほんのさわりを紹介し、市民の視点からの公共事業の実施へのかかわりかたについて考えます。 講師 藤原 徹／兼重 賢太郎 |
| 5 | 令和7年 6月18日(水) 10:00~11:30 | 「公共」サービスの担い手のあり方と費用負担 市民社会における様々なニーズを、国、地方自治体、地域社会、個人、誰が担っていくか、どのように担っていくのか、について、前半の内容を振り返りつつ、受講生の皆様と一緒に考えます。 講師 藤原 徹／兼重 賢太郎 |

| 回 | 日程 | 内容 |
|----|---------------------------------|--|
| 6 | 令和7年 7月2日(水) 10:00~11:30 | 都市の縮退化時代におけるまちづくりと法 人口減少社会の到来が唱えられる中、市街地の拡大を基調とした都市政策からの転換を目指し、近時、「コンパクトシティ」「賢い縮退（スマートシュリンク）」などの都市政策の理念が提示されつつあります。空き家・空き地などをはじめとした住まいの問題、都市縮退化時代における建物・土地の「過少利用」の問題など、まちづくりについて法制度はどのように対応できる／すべきなのか、考えていきたいと思ひます。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹 |
| 7 | 令和7年 7月16日(水) 10:00~11:30 | これからの福祉・介護のあり方と法 高齢化社会における福祉や介護は、そのサービスを受ける人たちだけの問題ではなく、そのサービスを担う人たち・組織、そしてサービスを支える制度の問題でもあります。持続可能な福祉・介護サービスを維持していく上で、現状の法制度が抱える課題やその改善等について、考えていきたいと思ひます。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹 |
| 8 | 令和7年 7月30日(水) 10:00~11:30 | 世代間の財産承継と法 典型的な財産承継は「相続」ですが、俗に「争族」ともいわれるように、親族間の紛争にまでエスカレートしてしまうことも、少なくありません。「相続」に関し、現状の法制度が抱えている問題・課題、近年の制度改革等を踏まえた上で、そのあり方を考えていきたいと思ひます。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹 |
| 9 | 令和7年 9月3日(水) 10:00~11:30 | AI 社会と法 これからの社会では、ますます AI（人工知能）・ロボットの果たす役割が大きくなることが予想されます。AI が社会の中で広く受容され、うまく活用されていくためには、技術的な進展のみならず、法制度の整備も必要となってきます。例えば、自動走行車の事故の責任はどうなるかなど、いくつかの想定されるケースをもとに、AI 社会における法制度の課題やありかたについて、考えていきたいと思ひます。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹 |
| 10 | 令和7年 9月17日(水) 10:00~11:30 | 情報公開制度、全体のまとめ わたしたちが市民社会の「担い手」として活動していく上では、正確な情報に基づく必要があります。このような認識のもと、公的機関が保有する情報を広く市民に公開する目的で構築された情報公開制度の現状や課題について、考えていきたいと思ひます。あわせて、これまでの講義全体の振り返りも行います。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹 |

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

兼重 賢太郎 先生

「経済」や「法」と聞くと、みなさんの中には、やや小難しいイメージをお持ちになる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、「経済(学)」も「法(学)」も、近代市民社会の成長とともに発展してきた歴史をもちます。近代経済学の祖といわれるアダム・スミスは「市民社会」の成立条件を考察したと言われますし、また、法に関していえば、英語で民法は「civil law（市民の法）」なのです。これからの市民社会のあり方、市民社会の担い手のあり方などを皆さんと一緒に考えていければと思います。





アクセス

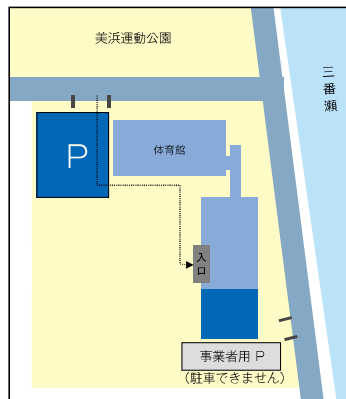


《公共交通機関》

- ◎JR新浦安駅から徒歩約12分
- ◎おさんぽバスじゅんかい線
「入船北団地」下車徒歩約5分
「美浜公民館」下車徒歩約7分
- ◎ベイシティバス1系統「入船六丁目」下車徒歩約5分

《お車でお越しの場合》

- ◎駐車スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ◎市民大学専用の駐車場ではありません。
- ◎駐車後、1階管理室にて駐車場利用簿にご記入いただく必要があります。



問い合わせ先

浦安市市民経済部市民大学校 (うらやす市民大学事務局)

〒279-0012

千葉県浦安市入船五丁目45番1号
(浦安市まちづくり活動プラザ3階)

TEL : 047-351-4811

E-mail :

shimindaigaku@city.urayasu.lg.jp

※うらやす市民大学は、学校教育法上の大学ではありません。正式名称は「浦安市市民大学校」であり、「うらやす市民大学」は愛称として用いています。

まちづくり活動プラザとは…

まちづくり活動プラザは、様々な世代の人々が交流やまちづくり活動をすることができる施設です。入船地区学校統合に伴い、「旧入船北小学校」をリニューアルし、平成30年度にオープンしました。施設では、まちづくり活動団体による7事業と市の4事業が運営されています。また、市民の皆さんが活動できる多目的室や体育館、運動場もあります。